

シラバス

2019年度

2年次

医療プロフェッ
ショナルリズムⅡ
正常構造と機能
生命科学
特論・研究Ⅰ

千葉大学医学部

目 次

コンピテンシー達成レベル表	1
科目評価アンケートについて	5
医療プロフェッショナリズムⅡ	
生命倫理ユニット	9
チーム医療Ⅱ（IPEⅡ）ユニット	13
病院等での演習・実習における医学部学生のドレスコード	17
正常構造と機能	
組織学総論ユニット	21
生化学ユニット	25
肉眼解剖学ユニット	37
発生学ユニット	51
神経科学ユニット	55
生理学ユニット	61
行動科学ユニット	67
生命科学特論・研究Ⅰ	
スカラーシップ・ベーシックプログラム	75
スカラーシップ・アドバンストプログラム	79
6年一貫医学英語プログラム	85
2年次スケジュール	97

コンピテンシー達成レベル表

レベル（達成度）	Advanced	Applied	Basic			
I. 倫理観とプロフェッショナリズム						
千葉大学医学部学生は、卒業時に	A	B	C	D	E	F
患者とその関係者、医療チームのメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するための態度、倫理観を有して行動できる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたり向上を図ることができる。	診療の場で医師としての態度、習慣、価値観を示せることが単位認定の要件である	医師としての態度、習慣、価値観を模倣的に示せることが単位認定の要件である	基盤となる態度、習慣、価値観を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	修得の機会はあるが、単位認定に関係ない	修得の機会がない
II. コミュニケーション						
千葉大学医学部学生は、卒業時に	A	B	C	D	E	F
他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。	診療の一部として実践できることが単位認定の要件である	模擬診療を実施できることが単位認定の要件である	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	修得の機会はあるが、単位認定に関係ない	修得の機会がない
III. 医学および関連領域の知識						
千葉大学医学部学生は、卒業時に	A	B	C	D	E	F
医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し応用できる。	診療の場で問題解決に知識を応用できることが単位認定の要件である	模擬的な問題解決に知識を応用できることが単位認定の要件である	知識修得・応用の態度、習慣を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	修得の機会はあるが、単位認定に関係ない	修得の機会がない
IV. 診療の実践						
千葉大学医学部学生は、卒業時に	A	B	C	D	E	F
患者に対して思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる。	診療の一部として実践できることが単位認定の要件である	模擬診療を実施できることが単位認定の要件である	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	修得の機会はあるが、単位認定に関係ない	修得の機会がない
V. 疾病予防と健康増進						
千葉大学医学部学生は、卒業時に	A	B	C	D	E	F
保健・医療・福祉の資源を把握・活用し、必要に応じてその改善に努めることができる。	実践できることが単位認定の要件である	理解と計画立案が単位認定の要件である	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	修得の機会はあるが、単位認定に関係ない	修得の機会がない
VI. 科学的探究						
千葉大学医学部学生は、卒業時に	A	B	C	D	E	F
基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。	実践できることが単位認定の要件である	理解と計画立案が単位認定の要件である	計画された研究の見学、基礎となる技術を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	修得の機会はあるが、単位認定に関係ない	修得の機会がない

学年	2												
コース・ユニット名	医学英語	医療プロフェッショナルリズムII		正常構造と機能									生命科学特論・研究I
	医学英語II	生命倫理	チーム医療II	組織学総論	（生） （遺伝・タンパク） 学	（生） （代謝・栄養） 学	肉 眼 解 剖 学	発 生 学	神 經 科 学	生 理 学	行 動 科 学	ベ ー シ ッ ク ・ ス カ ラ ー シ ッ プ ・ ク	
ナンバリング・水準コード	201	211	221	141	132	132	142	142	143	133	134	291	
I. 倫理観とプロフェッショナルリズム													
<p>千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者とその関係者、医療チームのメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するための態度、倫理観を有して行動できる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたり向上を図ることができる。 卒業生は：</p>													
1	倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D	D	E	F	E	F	C	E	C	E	D	D
2	法的責任・規範を遵守する。	F	D	C	E	C	C	C	E	C	E	D	E
3	他者の尊厳を尊重し、利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。	F	D	C	F	F	F	C	E	C	F	E	F
4	患者とその関係者の心理・社会的要因と異文化、社会背景に関心を払い、その立場を尊重する。	F	D	C	F	F	F	C	E	C	F	D	F
5	常に自己を評価・管理し、自分の知識、技能、行動に責任を持つことができる。	F	E	C	F	F	F	C	C	C	F	E	C
6	専門職連携を実践できる。	F	E	C	E	E	E	C	F	C	E	D	C
7	自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。	D	E	D	E	E	E	C	F	C	E	F	C
8	同僚、後輩に対する指導、助言ができる。	E	E	E	E	E	E	C	F	C	F	F	E
II. コミュニケーション													
<p>千葉大学医学部学生は、卒業時に 他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。 卒業生は：</p>													
1	患者、患者家族、医療チームのメンバーと、個人、文化、社会的背景を踏まえて傾聴、共感、理解、支持的態度を示すコミュニケーションを実施できる。	D	E	C	F	F	F	C	F	E	F	F	E
2	コミュニケーションにより、患者、患者家族、医療チームのメンバーとの信頼関係を築き、情報収集、説明と同意、教育など医療の基本を実践できる。	D	E	C	F	F	F	C	F	E	F	E	E
3	英語により医学・医療における情報を入力し、発信できる。	B	F	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C/D

学年	2												
コース・ユニット名	医学英語	医療プロフェッショナルリズムII		正常構造と機能									生命科学特論・研究I
	医学英語II	生命倫理	チーム医療II	組織学総論	（生） （遺伝・タンパク） 学	（生） （代謝・栄養） 学	肉 眼 解 剖 学	発 生 学	神 經 科 学	生 理 学	行 動 科 学	ベ ー シ ッ ク ・ ス カ ラ ー シ ッ プ ・ ク	
ナンバリング・水準コード	201	211	221	141	132	132	142	142	143	133	134	291	
Ⅲ. 医学および関連領域の知識													
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し応用できる。													
1	正常な構造と機能	D	F	E	D	D	D	D	D	E	B	E	
2	発達、成長、加齢、死	E	E	E	D	E	E	D	D	D	E	B	E
3	心理、行動	E	E	E	E	E	E	F	F	D	F	B	E
4	病因、構造と機能の異常	D	E	E	E	D	D	D	D	D	D	E	E
5	診断、治療	E	F	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
6	医療安全	E	F	E	E	F	E	E	E	E	F	F	E
7	疫学、予防	D	E	D	E	D	E	E	D	E	F	E	E
8	保健・医療・福祉制度	E	D	D	E	E	E	F	F	F	F	E	E
9	医療経済	E	E	E	F	F	F	F	F	F	F	E	E
Ⅳ. 診療の実践													
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者に対して思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる。 卒業生は：													
1	患者の主要な病歴を正確に聴取できる。	D	E	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F
2	成人及び小児の身体診察と基本的臨床手技を適切に実施できる。	F	E	E	E	F	F	F	F	D	F	F	F
3	臨床推論により疾患を診断できる。	F	F	E	F	F	F	F	F	D	F	E	F
4	頻度の高い疾患の診断と治療に必要な検査を選択し、結果を解釈できる。	F	F	E	E	E	D	E	E	E	F	E	F
5	頻度の高い疾患の適切な治療計画を立てられる。	F	F	E	E	F	E	E	E	E	F	D	F
6	医療文書を適切に作成し、プレゼンテーションできる。	D	F	C	E	E	E	E	E	F	F	F	D
7	Evidence-based medicine (EBM) を活用し、安全な医療を実施できる。	D	E	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F
8	病状説明・患者教育に参加できる。	F	E	E	E	E	E	E	E	F	F	F	F
9	診断・治療・全身管理に参加できる。	F	E	E	F	F	F	F	F	F	E	E	F

学年	2												
コース・ユニット名	医学英語	医療プロフェッショナルリズムⅡ		正常構造と機能									生命科学特論・研究Ⅰ
	医学英語Ⅱ	生命倫理	チーム医療Ⅱ	組織学総論	（遺伝・タンパク）学	（代謝・栄養）学	肉眼解剖学	発生学	神経科学	生理学	行動科学	ベスカラーシップ・ク	
ナンバリング・水準コード	201	211	221	141	132	132	142	142	143	133	134	291	
V. 疾病予防と健康増進													
<p>千葉大学医学部学生は、卒業時に 保健・医療・福祉の資源を把握・活用し、必要に応じてその改善に努めることができる。 卒業生は：</p>													
1	保健・医療・福祉に必要な人材・施設を理解し、それらとの連携ができる。	F	E	D	F	F	F	F	F	F	F	E	F
2	健康・福祉に関する問題を評価でき、疾病予防・健康増進の活動に参加できる。	F	E	E	F	F	F	F	E	F	F	D	F
3	地域医療に参加しプライマリケアを実践できる。	F	E	D	F	F	F	F	F	F	F	F	F
4	医療の評価・検証とそれに基づく改善に努めることができる。	F	E	E	E	E	D	E	E	E	E	F	E
VI. 科学的探究													
<p>千葉大学医学部学生は、卒業時に 基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。 卒業生は：</p>													
1	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。	D	F	C	E	D	D	E	E	E	E	D	D
2	科学的研究で明らかになった新しい知見・高度先進医療を説明できる。	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D
3	未知・未解決の臨床的あるいは科学的問題を発見し、解決に取り組むことができる。	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

科目評価アンケートについて

各科目の授業終了後に Moodle を利用して科目評価アンケートをして下さい。これは、来年度の当該科目の改善・発展のための資料となりますので、必ず記入・提出して下さい。このような評価を通してカリキュラムの改善に貢献することは、卒業コンピテンシー（V. 疾病予防と健康増進 4. 医療の評価・検証とそれに基づく改善に努めることができる。）に相当しますので、学習の一部になっていることを銘記して下さい。

医療プロフェッショナリズムⅡ

I 科目(コース)名 医療プロフェッショナリズムⅡ

II コースの概要
並びに学習目標 1年次の医療プロフェッショナリズムⅠに引き続いて、現代社会の中での医療専門職のプロフェッショナリズムについて講義や体験を通じて学習を深める。プロフェッショナリズムを構成する要素のうち、1) 専門職種間のコミュニケーション、チーム・ビルディング(チーム医療Ⅱ(IPEⅡ))、2) 医療における倫理的・法律的問題(生命倫理)を理解することを目標とする。

III 科目(コース)責任者 朝比奈 真由美

IV 対象学年 2年次

V 構成ユニット	ユニット	ユニット責任者	時期
	チーム医療Ⅱ(IPEⅡ)	朝比奈 真由美	第1ターム
	生命倫理	朝比奈 真由美	第2ターム

生命倫理ユニット

- 1) ユニット名 生命倫理
 2) ユニット責任者 朝比奈 真由美
 3) ユニット期間 第2ターム
 4) ユニットの概要

生殖医療，再生医療，遺伝医療など，医学研究の進歩と共に，診断，予防，治療など医療における可能性が大きく広がってきた。しかし，これらの進歩には光と影の両面がある。私たちが考えるべきは進歩を止めることではなく，研究成果を社会に応用するためのシステムを考え，害を最小にし，益を最大にすることである。疾病の変化と共に医療の内容も大きく変わろうとしている。これから医療を担う学生に，医療現場，生活の場でどのような生命倫理的課題があるか，あるいは起こりうるかを考え，必ずしも正解があるとは限らない課題にどの様に向き合うかを学ぶことを主要な目的とする。その為，法的側面，臨床心理的側面，社会学的側面の専門家に講義を依頼するとともに，遺伝性疾患，精神疾患の当事者自身が学生に講義することにより，学生が様々な側面から物事を考えるきっかけにする。

5) ユニットのゴール，学習アウトカムと科目達成レベル

・ゴール

医学・医療・保健・福祉の実践者にとって，生命倫理とは何かを理解する。医学の進歩の光と影を理解し，医療現場における倫理的問題にどの様に対処していくべきか自分自身で考えることができるようにする。

・コンピテンス達成レベル表

学習アウトカム		科目達成レベル (生命倫理)
I. 倫理観とプロフェッショナリズム		
千葉大学医学部学生は，卒業時に 患者とその関係者，医療チームのメンバーを尊重し，責任をもって医療を実践するための態度，倫理観を有して行動できる。そのために，医師としての自己を評価し，生涯にわたり向上を図ることができる。		
1	倫理的問題を理解し，倫理的原則に基づいて行動できる。 1. 臓器移植に関する問題点を説明できる。 2. 遺伝医療に関する問題点を説明できる。 3. 生殖医療に関する問題点を説明できる。 4. 精神医療に関する問題点を説明できる。	D 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
2	法的責任・規範を遵守する。 5. 医師の義務（守秘義務・警告義務）を説明できる。 6. 医事訴訟とは何かを説明できる。 7. 医学と法律・公共政策・宗教の関係の概要を説明できる。	D
3	他者の尊厳を尊重し，利他的，共感的，誠実，正直に対応できる。 8. 生命倫理学の歴史の概要を説明できる。 9. 医学研究における生命倫理の重要性について説明できる。 10. 医の倫理原則を説明できる。 11. 医療の実践における心理的配慮の重要性を説明できる。	D
4	患者とその関係者の心理・社会的要因と異文化，社会的背景に関心を払い，その立場を尊重する。 12. インフォームドコンセント，患者の自己決定権について説明できる。 13. 患者の背景によって，取り得る選択肢は異なることを説明できる。 14. 必ずしも正解があるとは限らない課題があることを説明できる。	D

学習アウトカム		科目達成レベル (生命倫理)	
Ⅲ. 医学および関連領域の知識			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し応用できる。			
8	保健・医療・福祉制度 15. 医学の社会的役割の歴史的な変化を説明できる。 16. 医学・医療の進歩によって、新たな課題が発生していることを説明できる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である

6) 評価法

患者、患者家族および関係者による講義に対する出席および受講態度はプロフェッショナリズムの評価の対象となる。

出席およびグループ討議への参加（観察記録）（20%）、事前学習課題の実施状況（20%）、授業の記録・リフレクションシートの内容（30%）、最終レポートの内容（30%）から学習目標達成状況に関して成績評価を行う。

プロフェッショナリズムに反する行為のあった場合、その内容、程度により評価が減点される。

全員APRINが提供するeラーニング講座の受講と合格を必須とする。指定の日時までにはプリントアウトした修了証を学務係に提出することで受講修了と認める。

7) 授業スケジュール

P.11参照

8) 教科書

1. トニー・ホープ「医療倫理」岩波書店（2007）
医療倫理，生殖補助医療，医科学研究など
2. 小林亜津子「看護のための生命倫理」ナカニシヤ出版（2010）
看護に特化した話はほとんど無く，学部生が読むにはちょうど良いレベル。興味深い症例レベルで学ぶ。
3. 赤林 朗編（改訂版）「入門・医療倫理(1)」勁草書房（2017）
倫理理論がしっかり書かれている

配布資料他

事前にMoodleにアップロード。適宜，プリントも配布。

・授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担当教員	授業 種別	授業内容	key word	授業課題
1	6月7日(金)	Ⅲ	第一講義室	医学教育 研究室	朝比奈真由美	講義	生命倫理概 論, ユニッ トの概要	倫理, 生命倫 理	医療現場にお ける重要性を 知る
2	6月20日(木)	I	第一講義室	千葉大学 医学部子 どものこ ころの発 達教育研 究 セ ン ター	浦尾悠子	講義 と 討 論	生命倫理学と 臨床心理学 (+コミュニ ケーション)	臨床心理士	心理的アプ ローチをまな ぶ
3		Ⅱ	第一講義室						
4	6月27日(木)	Ⅲ	第一講義室	千葉県救 急医療セ ンター	宮田昭宏	講義 と 討 論	臓器移植につ いて	臓器移植	臓器移植の実 際を知る
5	6月28日(金)	Ⅲ	第一講義室	わかばの 会	田中宏子 早川英子	講義 と 討 論	ターナー女性 (症候群)の 当事者から	ターナー女性	医学的課題と 社会での課題
6	7月4日(木)	Ⅲ	第一講義室	日本ハン チントン 病ネット ワーク	中井伴子	講義 と 討 論	ハンチントン 病の当事者か ら	神経変性疾患	成人期発症の 遺伝性疾患に 関する課題
7	7月5日(金)	Ⅲ	第一講義室	やどかり の里	増田一世 未定	講義 と 討 論	統合失調症の 当事者の思い を聴く	障害者自立支 援法	地域社会の一 員として生き るとは
8	7月11日(木)	Ⅲ	第一講義室	日本難病・ 疾病団体 協議会	喜島智香子 森 幸子 山根則子	講義 と 討 論	医療・福祉に おけるヘルス ケア関連団体 の役割	ヘルスケア関 連団体	医療・福祉に おけるヘルス ケア関連団体 の役割を知る
9		Ⅳ	第一講義室	社団法人 日本オス トミー協会					
10	7月19日(金)	Ⅲ	第一講義室	医学教育 研 究 室 環境生命 学講座	朝比奈真由美 鈴木崇根	講義 と 討 論	倫理行動ワー クショップ	倫 理, プロ フェッショナ リズム行動	学生としての 倫理・プロ フェッショナ リズム行動
11		Ⅳ	第一講義室	群馬パー ス大学保 健科学部	吉田幸恵	講義	生命倫理学と 社会学	社会学的研究	社会学的立場 からの視点を 知る

チーム医療Ⅱ（IPEⅡ）ユニット

- 1) ユニット名 チーム医療Ⅱ（IPEⅡ）
- 2) ユニット責任者 朝比奈 真由美
- 3) ユニット期間 前期
- 4) ユニットの概要

 亥鼻IPEでは、医学・看護・薬学部の学生がともに互いに対等なグループの一員として学習することにより、将来のチーム医療の実践に必要な能力を修得する。

 Step2「創造」は、保健、医療、福祉現場での見学実習やグループワークをとおして、「チームメンバーそれぞれの職種の役割・機能を把握し、効果的なチーム・ビルディングができる能力」を身につけるステップである。

5) ユニットのゴール、学習アウトカムと科目達成レベル

 チームメンバーそれぞれの職種の役割・機能を把握し、効果的なチーム・ビルディングができる能力。

 Step2の終了時、学生は以下のことができる。

- I. チームの目的達成に向け、自分の行動を調整できる
- II. チームづくりに必要な基礎知識とスキルを理解し、自分のチームに活用できる
- III. 他の専門職や教員、チームメンバーと、チームの目標達成のために有効なコミュニケーションをとることができる
- IV. 医療福祉サービスおよび行われているケアを患者・サービス利用者の自律および自立の観点から説明できる
- V. 実際に行われている治療ケアの根拠と理由を（説明を受けて）理解できる
- VI. 医療、保健、福祉の場における各専門職の役割機能を説明できる

・コンピテンス達成レベル表

学習アウトカム	科目達成レベル (チーム医療Ⅱ（IPEⅡ）)		
I. 倫理観とプロフェッショナリズム			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者とその関係者、医療チームのメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するための態度、倫理観を有して行動できる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたり向上を図ることができる。			
2	法的責任・規範を遵守する。 ・グランド・ルールを守る	C	基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である
3	他者の尊厳を尊重し、利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。 ・患者、チームメンバー、教員に対して利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。	C	
4	患者とその関係者の心理・社会的要因と異文化、社会的背景に関心を払い、その立場を尊重する。 ・患者の心理・社会的要因と異文化、社会背景に関心を払い、その立場を尊重する。	C	
5	常に自己を評価・管理し、自分の知識、技能、行動に責任を持つことができる。 ・責任ある行動がとれる。	C	
6	専門職連携を実践できる。 ・お互いから学び合うことができる。 ・チームの一員として有効な活動ができる。	C	

学習アウトカム		科目達成レベル (チーム医療Ⅱ (IPEⅡ))	
7	自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。 ・学生としての自己目標を設定できる。 ・自己評価ができる。	C	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である
Ⅱ. コミュニケーション			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。			
1	患者、患者家族、医療チームのメンバーと、個人、文化、社会的背景を踏まえて傾聴、共感、理解、支持的態度を示すコミュニケーションを実践できる。 ・患者・チームメンバーと傾聴、共感、理解、支持的態度を示すコミュニケーションを実施できる。	C	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である
2	患者、患者家族、医療チームのメンバーとの信頼関係を築き、情報収集・伝達、説明と同意、教育など医療の基本を実践できる。 ・患者・チームメンバーと信頼関係を構築できる。	C	
Ⅲ. 医学および関連領域の知識			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し応用できる。			
7	疫学、予防 ・予防医療に関連する専門職チームの働きを理解する	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
8	保健・医療・福祉制度 ・保健・医療・福祉制度を理解する。	D	
Ⅳ. 医療の実践			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者に対して思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる。			
6	医療文書を適切に作成し、プレゼンテーションできる。 ・リフレクションシートを記載し、レポートを作成できる。	C	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である
Ⅴ. 疾病予防と健康増進			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 保健・医療・福祉の資源を把握・活用し、必要に応じてその改善に努めることができる。			
1	保健・医療・福祉に必要な人材・施設を理解し、それらとの連携ができる。 ・各種の医療専門職を理解する。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
3	地域医療に参加しプライマリケアを実践できる。 ・プライマリケアに関する専門職チームを理解する。	D	
Ⅵ. 科学的探究			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。			
1	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。 ・科学的情報を収集する方法を理解する。 ・明確な根拠に基づいた考察ができる。	C	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である

6) 授業スケジュール

P.16参照

7) 評 価 法

グループ（ユニット）活動への参加（観察記録）（20%）、自己評価表・グループ（ユニット）評価表の提出状況および授業の記録・リフレクションシートの内容（30%）、ユニット発表の内容（20%）、最終レポートの内容（30%）から学習目標達成状況に関して成績評価を行う。

プロフェッショナリズムに反する行為があった場合、その内容、程度により評価が減点される。B型肝炎、風疹、麻疹、ムンプス、水痘帯状ヘルペスに対する基準をクリアしない学生は、特別な理由がある場合を除き、実習に参加することはできない。

8) 参 考 資 料

1. 堀公俊他. チーム・ビルディングー人と人を「つなぐ」技法, 日本経済新聞出版社, 2007.
2. 細田満和子. 「チーム医療」の理念と現実－看護に生かす医療社会学からのアプローチ, 日本看護協会出版会, 2003.
3. 亥鼻IPE 学習ガイド 資料編 千葉大学 医学部 看護学部 薬学部
4. WHOの保健医療職育成ガイドライン2013 (11の推奨項目のうち9番目がIPE)
http://whoeducationguidelines.org/sites/default/files/uploads/WHO_EduGuidelines_20131202_Chapter4.pdf
5. CAIPE (英国の専門職連携教育センター) : <http://www.caipe.org/>
6. JAIPE (日本保健医療福祉連携教育学会) : <http://www.jaipe.net/>
7. 亥鼻IPE : <http://www.iperc.jp/>
8. Reeves S, Fletcher S, Barr H, et al. A BEME systematic review of the effects of interprofessional education: BEME Guide No. 39. Medical teacher 2016; 38: 656-668.

・授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	担当教員	授業種別	授業内容	key word	授業課題 (予習, 自習課題)
1 ・ 2	5月9日(木)	Ⅲ ・ Ⅳ	学習の進 め方参照	IPE担当 教員	講義 (Shared learning) 演習 (Mix group)	①オリエンテーション ②専門職連携と チームについて ③チーム・ビル ディング	専門職 チーム・ビ ルディング	事前学習資料 自己評価・授 業の内容・リ フレクション
3 ・ 4	5月16日(木)	Ⅲ ・ Ⅳ	学習の進 め方参照	IPE担当 教員	講義 (Shared learning) 演習 (Mix group)	①多様な実習施 設の位置づけ ②実習オリエン テーション ③実習準備	保健・医療・ 福祉施設 チーム医療	同上
5 ・ 6 ・ 7	5月23日(木)	Ⅲ ・ Ⅳ ・ Ⅴ	各実習施 設	実習協力 職員	実習 (Mix group)	実 習 病院, 地域医療保健 施設におけるチーム 医療の見学	専門職連携 実践	同上
8 ・ 9 ・ 10	5月30日(木)	Ⅲ ・ Ⅳ ・ Ⅴ	各実習施 設	実習協力 職員	実習 (Mix group)	実 習 病院, 地域医療保健 施設におけるチーム 医療の見学	専門職連携 実践	同上
11 ・ 12	6月6日(木)	Ⅲ ・ Ⅳ	学習の進 め方参照	IPE担当 教員	演習 (Unit)	①保健医療福祉の 現場における専 門職連携の実際 ②実習振り返り ③発表についての 討論	チーム・ビ ルディング 専門職連携 実践	同上
13 ・ 14	6月13日(木)	Ⅲ ・ Ⅳ	学習の進 め方参照	IPE担当 教員	演習 (Unit)	①保健医療福祉の 現場における専 門職連携の実際 ②実習振り返り ③発表についての 討論	チーム・ビ ルディング 専門職連携 実践	同上
15 ・ 16	6月20日(木)	Ⅲ ・ Ⅳ	学習の進 め方参照	IPE担当 教員, 実 習病院協 力職員	演習 (Unit)	学習成果発表会 全体討議	プレゼン テーション	同上 プレゼンテー ション準備

病院等での演習・実習における医学部学生のドレスコード

(平成 28 年 6 月 13 日医学研究院・医学部教授会報告)

【基本方針】

学生が臨床現場においてふさわしい身だしなみをすることにより、

患者を尊重する態度

真剣に医療に取り組み、患者から信頼を得る態度

を表現し、自己、患者を含む総ての関係者に対して感染防御を図ることができる。

学生は技能の習熟した医師以上に、身だしなみに留意する必要がある。

身だしなみが不適切であるために、患者に不快感を与える、あるいは感染防御上問題があると判断された場合は、授業への参加を認めず、その期間中は欠席扱いとすることがある。

【身だしなみの原則】

清潔であること、清潔が保てるものであること。

清潔感があること、不快感を与えるものでないもの。

機動性が確保できるもの。

自らの医療安全が確保できるもの。

【身だしなみの基準】

1) 名 札

- ・病院内では「学生証」、ステューデントドクターは「病院 ID カード」（顔写真入り）を常時着用する。

2) 白 衣

- ・外来、一般病棟では通路も含め常時着用する。
- ・前ボタンをとめる。
- ・汚れ、しわがない。

3) 衣 服

- ・男性は（図1）、原則としてワイシャツ（淡色系）、黒、白または地味な色のフルレングスのズボンを着用する。CC 開始前の見学実習、病院内での演習等においては、原則としてネクタイ着用とする（クールビズ期間、あるいは科目により別途指定がある場合はそちらに従う）。
- ・女性は（図2）、原則としてスーツのインナートップスに相当するもの（襟付きのブラウス等、淡色系）、黒、白または地味な色のフルレングスのズボンを着用する。
- ・スクラブの着用は診療科の指示に従う。外来、病棟では通路も含めて上に白衣を着用し、ボタンをとめる（図3）。
- ・ジーンズ、ジャージ、七分丈ズボン、半ズボン、ショートパンツは禁止する。

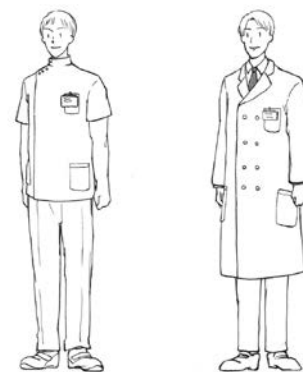


図1 男性（例）

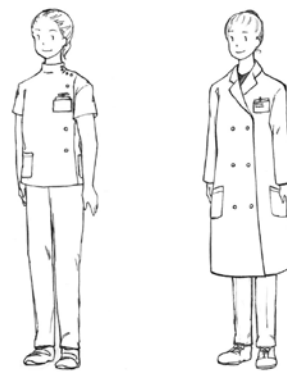


図2 女性（例）

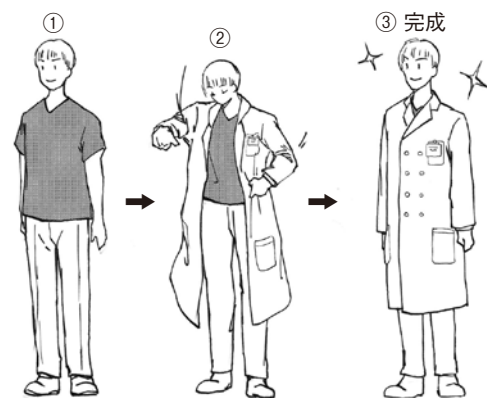


図3 スクラブ

4) 頭 髪

- ・目立つ色は禁止する。

目立つ色とは、室内で染めていることが容易に判別できる明るい色

面談している者の視線が頭髪にいくような色

- ・洗髪，整髪をする。
- ・男性の長髪は禁止する。
- ・女性で肩甲骨にかかる長い頭髪は後頭部でシニヨンにするなどして（図4），顔，肩にかからないようにする。
- ・奇抜なヘアスタイルは禁止する。華美な髪留め，エクステンションは禁止する。



図4 女性（頭髪の例）

5) メイク・整容

- ・つけまつげ，華美なメイクは禁止する。
- ・原則として，髷を伸ばすことは禁止する。

6) 靴，靴下

- ・病院での実習にふさわしい靴を使用する。つま先から足の甲及び踵を覆う形状で，足音がしないもの，色は地味な色のものとする。
- ・ブーツ，ハイヒール，サンダルは禁止する。
- ・足首が露出しない長さの靴下を着用する。

7) 爪

- ・短く切る。
- ・マニキュアは禁止する。

8) 装身具，香料

- ・装身具は原則として装着しない（結婚指輪，女性の透明ピアスも極力避ける）。
- ・香水，香りの強い整髪料等は使用しない。

9) その他

- ・口臭に気を付ける。
- ・煙草の臭いをさせない。
- ・手にメモを書かない。

*本ドレスコードは，大学病院のみならず，学外の医療・保健各機関における身だしなみとして適用されるものである。

正常構造と機能

I 科目(コース)名 正常構造と機能

II コースの概要
並びに学習目標 医学の基礎を総括的に学ぶために人体について分子レベルから細胞, 組織, 器官, 個体までの機能と構造について理解し, 考察できる能力を身に付ける。

III 科目(コース)責任者

IV 対象学年 2年次

V 構成ユニット	ユニット	ユニット責任者
組織学総論	組織学総論	山口 淳
生化学	生化学	瀧口 正樹 (サブユニット: 遺伝・タンパク生化学) 金田 篤志 (サブユニット: 代謝・栄養生化学)
肉眼解剖学	肉眼解剖学	森 千里
発生学	発生学	森 千里
神経科学	神経科学	山口 淳
生理学	生理学	三木 隆司
行動科学	行動科学	清水 栄司

組織学総論ユニット

1) ユニット名 組織学総論

2) ユニット責任者 山 口 淳

3) ユニット期間 後期

4) ユニットの概要

3年次に行う組織学（各論）につながる人体に関する基礎的な知識（総論）を学ぶ。

5) ユニットのゴール、学習アウトカムと科目達成レベル

・ゴール

細胞の基本構造や組織の構成を理解し、顕微鏡を用いた組織実習を行う。

・コンピテンス達成レベル表

学習アウトカム	科目達成レベル (組織学総論)
Ⅲ. 医学および関連領域の知識	
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し応用できる。	
1 正常な構造と機能 ・組織の基本構造と細胞小器官の種類と構造を描き、機能を説明できる。 ・4大組織を描いて、説明できる。 ・上皮組織を分類し構造を描き、機能の特徴を説明できる。 ・外分泌腺の構造を描き、機能、分泌様式、分類を説明できる。 ・結合組織を描き、成分、種類、機能を説明できる。 ・3種の筋組織について描き、各構造および機能の特徴を説明できる。 ・神経組織についてその構造を描き機能について説明できる。 ・毛細血管、動脈、静脈、リンパ管の構造を描き、機能の関係を説明できる。 ・消化器、呼吸器、腎泌尿器、生殖器、皮膚、特殊感覚器の組織概要を説明できる。	D
2 発達、成長、加齢、死 ・細胞の活動、分裂・増殖、退化・死を説明できる。 ・骨・軟骨の組織構築、骨の形成過程を描き、説明できる。 ・骨髄における造血組織の構造、および血球各種と血小板を描き、その発生過程を説明できる。	D

6) 最終評価法

1) wbt形式による理論試験 (60%)

(内訳：細胞15%，上皮・腺組織15%，結合組織・造血組織30%，軟骨・骨10%，筋・神経20%，脈管10%)

2) wbt形式による実習試験 (30%)

(内訳：細胞15%，上皮・腺組織15%，結合組織・造血組織30%，軟骨・骨10%，筋・神経20%，脈管10%)

3) アウトカム評価 (実習スケッチ、組織学入門) とポートフォリオ評価 (自主学習レポートを含む) (10%)

7) 授業スケジュール

P.23～24参照

8) 教科書

特に指定しない：講義資料配付

参 考 書

- 1) 標準組織学 総論 第5版 (藤田尚男, 藤田恒夫, 医学書院)
- 2) Ross組織学 (内山安男, 相磯貞和監訳, 南江堂)
- 3) 組織細胞生物学 原著第3版 (内山安男監訳, 南江堂)
- 4) ジュンケイラ組織学 (丸善出版)
- 5) 人体組織学 (内山安男, 相磯貞和訳, 南江堂)
- 6) カラー図解 人体の正常構造と機能 (坂井建雄, 河原克雅総編集, 日本医事新報社)
- 7) Bloom & Fawcett's Concise Histology (D.W. Fawcett, R.P. Jensch: Arnold)
- 8) Molecular Biology of the Cell (B. Albert 他 : Garland)
- 9) Gray's Anatomy (P.L. Williams 他 : Churchill Livingstone)

実 習 参 考 書

- 1) 機能を中心とした図説組織学 (山田英智監訳, 医学書院)
- 2) カラーアトラス 機能組織学 (藤本豊士, 牛木辰男, 南江堂)

配 布 資 料

総論講義資料と実習書

・授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担当教員	授業 種別	授業内容	key word	授業課題
1	10月2日(水)	I	組織実習室	機能形態学	山口	講義	細胞学	細胞, 組織, 形態解析手法, 核, 核膜, 染色質, 核小体, 細胞質, 細胞小器官の種類, 細胞骨格, 細胞の活動, 細胞分裂と増殖, 細胞の退化と死	配付資料参照
2	10月4日(金)	I	組織実習室	機能形態学	山口	講義	上皮組織・筋組織(前半)	上皮組織, 扁平上皮, 立方上皮, 円柱上皮, 単層上皮, 重層上皮, 偽重層上皮(多列上皮), 上皮の機能, 上皮細胞の極性, 腺体部, 導管, 複合腺, 管状腺, 胞状腺, 漿液腺, 粘液腺, 全分泌, 部分分泌	配付資料参照
3	10月7日(月)	I	組織実習室	機能形態学	伊藤	講義	結合組織1	固定細胞, 線維芽細胞, 遊走細胞, 細胞外基質, 膠原線維, 細網線維, 弾性線維, 細胞間基質, 疎性・密性結合組織, 血球, 造血組織, 多能性造血幹細胞, 赤芽球, 骨髓球, 単芽球, 巨核球, リンパ芽球	配付資料参照
4		II	組織実習室	機能形態学	伊藤	講義	結合組織2	硝子軟骨, 弾性軟骨, 線維軟骨, 軟骨細胞, 軟骨膜, 骨細胞, 骨小腔, 骨基質, 骨膜, 骨芽細胞, 骨細胞, 破骨細胞, 骨単位(オステオン), 介在層板, ハヴァース管, フォルクマン管, 膜内骨化, 軟骨内骨化	配付資料参照
5	10月9日(水)	I	組織実習室	機能形態学	山口	講義	筋組織(後半)・神経組織	[平滑筋, 骨格筋, 心筋, 筋節, A帯, I帯, すべり説, 神経筋接合(運動終板), 三ツ組] [神経細胞, 神経膠細胞, 軸索, 樹状突起, 軸索内輸送, シナプス, 有髄線維, 無髄線維]	配付資料参照

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担当教員	授業 種別	授業内容	key word	授業課題
6	10月11日(金)	I	組織実習室	機能形態学	全教員	実習	実習1 (上皮, 腺, 筋組織)		実習書「細胞と上皮, 腺, 筋組織」参照
7	10月18日(金)	I	組織実習室	機能形態学	全教員	実習	実習2 (筋組織, 神経組織)		実習書「筋組織, 神経組織」参照
8	10月21日(月)	I	組織実習室	機能形態学	伊藤	講義	脈管: 脈管の種類と構造	弾性型動脈, 筋型動脈, 静脈, 毛細血管, リンパ管, 内膜, 中膜, 外膜, 弾性板, 内弾性板, 外弾性板	配付資料参照
9	10月23日(水)	I	組織実習室	機能形態学	全教員	実習	実習3 (結合組織・造血組織)		実習書「結合組織・造血組織」参照
10		II	組織実習室	機能形態学	全教員	実習	実習4 (軟骨・骨)		実習書「軟骨・骨」参照
11	10月25日(金)	I	組織実習室	機能形態学	全教員	実習	実習5 (脈管)		実習書「脈管」参照
12	10月30日(水)	I	IT室	機能形態学		試験	実習	範囲 1-11	
13		II					理論		
14	11月24日(金)	III	IT室	機能形態学		再試験	実習	範囲 1-11	
15		IV					理論		

生化学ユニット（サブユニット：遺伝・タンパク生化学，代謝・栄養生化学）

1) ユニット名 生化学（サブユニット：遺伝・タンパク生化学，代謝・栄養生化学）

2) ユニット責任者 瀧口正樹，金田篤志

3) ユニット期間 第1・2ターム

4) ユニットの概要

生化学は生命現象を化学的立場から解明しようとする学問である。生化学の学習においては、原子・分子の世界から生命現象を理解すると共に、種々の難問の解決に向けて挑戦可能な化学的思考法（Chemically minded thinking）の習得に重点が置かれている。さらに、その学習の成果を、社会の法秩序や倫理規範に則り、医学の諸分野における化学的解析や実地臨床に役立たせることを目標としている。

5) ユニットのゴール，学習アウトカムと科目達成レベル

・ゴール

（サブユニット：遺伝・タンパク生化学）

（遺伝子生化学）核酸，タンパク質等の生体高分子の成り立ちと機能を理解する。また、これらを構成するアミノ酸，ヌクレオチド等の代謝の概要を理解する。さらに、膜，細胞骨格を中心に細胞の分子構造を理解する。以上についての正常構造・機能に加え、それらの異常による疾病の発症機序，予防，治療の原理を理解する。実習においては、分子生物学的生化学実験により遺伝子操作の基礎的手法を体得する。

（サブユニット：代謝・栄養生化学）

（分子腫瘍学）糖や脂質などの各種の化合物の代謝および食品・栄養とそれらに関わる諸学問や社会的問題についての基本的事項の習得を目標とする。実習では、ヒト生体を構成する物質やその代謝産物の定性・定量分析の基本を習得することを目標とする。

・コンピテンス達成レベル表

学習アウトカム		科目達成レベル (生化学)	
I. 倫理観とプロフェッショナリズム			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者とその関係者，医療チームのメンバーを尊重し，責任をもって医療を実践するための態度，倫理観を有して行動できる。そのために，医師としての自己を評価し，生涯にわたり向上を図ることができる。			
<医師としての考え，態度>			
2	法的責任・規範を遵守する。 遺伝・タンパク生化学 1) 遺伝子組換え技術を利用する上での注意点を理解し，法的規範を遵守して実験を行なうことができる。 代謝・栄養生化学 1) 習得する生化学知識を社会規範と照合して利用可能とすることができる。	C	基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である
Ⅲ. 医学および関連領域の知識			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医療の基盤となっている以下の基礎，臨床，社会医学等の知識を有し応用できる。			

学習アウトカム		科目達成レベル (生化学)	
1	<p>正常な構造と機能</p> <p>遺伝・タンパク生化学</p> <p>2) 核酸および染色体の基本構造を説明できる。</p> <p>3) DNA複製の分子機構、生物学的意義を説明できる。</p> <p>4) 転写と転写後修飾について概要を説明できる。</p> <p>5) 転写の調節機構について概要を説明できる。</p> <p>6) アミノ酸の種類と特性を説明できる。</p> <p>7) アミノ酸の異化と尿素合成の概略を説明できる。</p> <p>8) タンパク質の構造の特徴を説明できる。</p> <p>9) 細胞膜の構造と主な機能を説明できる。</p> <p>10) シグナル伝達の主な形式について説明できる。</p> <p>11) タンパク質合成の機構の概略を説明できる。</p> <p>12) タンパク質輸送の制御機構を説明できる。</p> <p>13) タンパク質分解系の種類と特徴を説明できる。</p> <p>14) 細胞骨格の種類と主な構成分子について説明できる。</p> <p>15) 1炭素単位転移の機構と生物学的意義を説明できる。</p> <p>16) ヌクレオチドの新規合成と異化について概説できる。</p> <p>17) ヌクレオチドの再利用経路について、概要と意義を説明できる。</p> <p>代謝・栄養生化学</p> <p>2) 酵素の性質、種類、精製法について説明できる。</p> <p>3) 酵素反応の特性、調節機構を説明できる。</p> <p>4) 酵素反応の速度論的取扱いができる。</p> <p>5) 解糖の意義を述べ、経路の調節機構を説明できる。</p> <p>6) クエン酸回路の意義を述べ、反応経路について説明できる。</p> <p>7) 糖新生の意義を述べ、経路の調節機構を説明できる。</p> <p>8) グリコーゲンの合成と分解の意義を述べ、反応経路について説明することができる。</p> <p>9) ペントースリン酸経路について説明できる。</p> <p>10) 複合糖質の分類・性質・役割について説明できる。</p> <p>11) 脂質代謝の経路を説明できる。</p> <p>12) 細胞や臓器における脂質代謝の場を説明できる。</p> <p>13) エネルギー源や生体構成分子としての脂質の生理的役割を説明できる。</p> <p>14) ミトコンドリアの電子伝達系を説明し、電子の伝達機構を分子・原子レベルで述べることができる。</p> <p>15) ATPの合成機構について述べることができる。</p> <p>16) 活性酸素などのフリーラジカルの発生とその生物学的影響について説明できる。</p> <p>17) 栄養代謝におけるビタミンの役割を説明できる。</p> <p>18) 糖質・脂質・タンパク質および他の化合物の代謝の相互関連を俯瞰し説明できる。</p> <p>19) ゲル濾過法、およびその他の生体分子分離法を列挙し、各々の原理を説明できる。</p> <p>20) 食物摂取によるエネルギー獲得のメカニズムを説明できる。</p> <p>21) ホルモンによる恒常性維持について説明できる。</p>	D	<p>基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である</p>

学習アウトカム		科目達成レベル (生化学)	
4	病因，構造と機能の異常 遺伝・タンパク生化学 18) 生体を構成する分子の代謝・機能異常により引き起こされる疾病について概要を説明できる。 19) 病気の原因となっている遺伝子の異常について，例を挙げて説明できる。 代謝・栄養生化学 22) 栄養学や食品科学の進歩が食生活習慣へ与える影響を指摘し，メタボリックシンドロームや各種の疾病の予防策を述べることができる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
7	疫学，予防 遺伝・タンパク生化学 20) 生体内代謝を指標とした，疫学や疾病予防への生化学の活用法について説明できる。	D	
IV. 診療の実践			
千葉大学医学部学生は，卒業時に患者に対して思いやりと敬意を示し，患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる。			
4	頻度の高い疾患の診断と治療に必要な検査を選択し，結果を解釈できる。 代謝・栄養生化学 23) 尿試料中の含窒素化合物の定量分析法と生体内代謝を説明することができる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
V. 疾病予防と健康増進			
千葉大学医学部学生は，卒業時に保健・医療・福祉の資源を把握・活用し，必要に応じてその改善に努めることができる。			
4	医療の評価・検証とそれに基づく改善に努めることができる。 代謝・栄養生化学 24) 栄養指導・食育など食に関わる問題の重要性について説明できる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
VI. 科学的探究			
千葉大学医学部学生は，卒業時に基礎，臨床，社会医学領域での研究の意義を理解し，科学的情報を評価し，新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。			
1	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。 遺伝・タンパク生化学 21) 遺伝子組換え実験の基礎的手技について，概要を説明できる。 22) 遺伝子組換え実験に用いられる大腸菌やベクターの特徴について説明できる。 23) PCR法の原理や活用法について説明できる。 24) タンパク質の基本的な分析法について，原理や概要を説明できる。 代謝・栄養生化学 25) 代謝疾患の病態解明を目指した新たな解析手法「ニュートリゲノミクス」の原理や概要を説明できる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である

6) 評 価 法

両サブユニットのユニットコンピテンスをそれぞれ達成していることを単位認定の要件とする。

遺伝子生化学

(1) 試験 (wbt) (約60%)

内容	想起	解釈	応用・問題解決	計
生化学の基礎	24	4	0	28 (35%)
分子機構, 制御機構の理解	4	32	4	40 (50%)
実験手法, 研究方法	4	4	4	12 (15%)
計	32 (40%)	40 (50%)	8 (10%)	80 (100%)

(2) 小テスト, 履修態度等 (約40%)

(3) 実習の出席は必須 [やむをえず欠席の場合は事前に043-226-2036へ電話のこと]

分子腫瘍学

(1) 試験 (約70%)

内容	想起	解釈	応用・問題解決	計
酵素反応の基礎	2	2	0	4 (10.0%)
栄養・エネルギー代謝の基礎	7	6	0	13 (32.5%)
代謝の相互関係	5	4	2	11 (27.5%)
栄養代謝の分子機構とその異常	3	3	2	8 (20.0%)
生体分子の分離・定量	0	2	2	4 (10.0%)
計	17 (42.5%)	17 (42.5%)	6 (15.0%)	40 (100.0%)

(2) ミニテスト (約20%)

(3) 実習・演習 (約10%)

7) 授業スケジュール

P.30~36参照

8) 教 科 書

遺伝子生化学 (サブユニット: 遺伝・タンパク生化学)

エリオット 生化学・分子生物学 第5版 東京化学同人

分子腫瘍学

イラストレイテッドハーパー・生化学 [原書30版]

参 考 書

遺伝子生化学 (サブユニット: 遺伝・タンパク生化学)

Papachristodoulou, D., et al. (2014) Biochemistry and Molecular Biology, 5th ed., Oxford Univ. Press (上記エリオットの教科書の原書)

Mathews, C. K., et al. (2013) Biochemistry, 4th ed., Pearson

マシューズ 生化学 第4版 西村書店 (上記の訳書)

Voet, D. & Voet, J. G. (2013) Biochemistry, 4th ed., Wiley

ヴォート 生化学 上・下 第4版 東京化学同人 (上記の訳書)

Lodish, H., et al. (2016) Molecular Cell Biology, 8th ed., Freeman

Alberts, B., et al. (2014) Molecular Biology of the Cell, 6th ed., Garland Science

アルバーツ 細胞の分子生物学 第6版 ニュートンプレス (上記の訳書)

リーバーマン コア生化学 西村書店

分子腫瘍学 (サブユニット：代謝・栄養生化学)

生化学辞典, 第4版, 東京化学同人

Nelson, D. L. & Cox, M. M. (2017) Lehninger, Principles of Biochemistry, 7th ed., Freeman レーニンジャーの新
生化学上・下 第6版, 廣川書店 (第7版 上3月, 下6月出版予定)

配布資料

遺伝子生化学 (サブユニット：遺伝・タンパク生化学)

講義用資料 (別添)

実習書 (別添)

分子腫瘍学 (サブユニット：代謝・栄養生化学)

講義用資料 (別添)

実習書 (別添)

演習資料 (別添)

・授業スケジュール

担当：遺伝子生化学

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担 当 教 員	授 業 種 別	授 業 内 容	key word	授 業 課 題 (予習, 自習課題)
1	4月10日(水)	Ⅲ	第一講義室	遺伝子生 化学	瀧口	講義	核酸概論：遺 伝情報の流れ, DNAとRNA の構造, 染色 体の構造	セントラルドグマ, 遺伝子, 複製, 転 写, 翻訳, ヌクレ オチド, 塩基対, 水素結合, DNA 二重螺旋, 逆平行 性, ヒストン, ク ロマチン	エリオット生 化学・分子生 物学(第5版) p324~p339 配布資料
2		Ⅳ	第一講義室	遺伝子生 化学	岩瀬	講義	タンパク質1: アミノ酸, 基 本構造	アミノ酸, 立体異 性体, 双極イオン, 等電点, ペプチド 結合, α ヘリク ス, β シート, ジ スルフィド結合, 疎水結合, 高次構 造	エリオット生 化学・分子生 物学(第5版) p43~p55配 布資料
3	4月17日(水)	Ⅲ	第一講義室	遺伝子生 化学	瀧口	講義	DNA複製1: 細胞周期, DNA 合成の素過程	DNAポリマー ゼ, 半保存的複製, 不連続合成	エリオット生 化学・分子生 物学(第5版) p340~p346 配布資料
4		Ⅳ	第一講義室	遺伝子生 化学	岩瀬	講義	タンパク質2: ドメイン構造, 研究法	ドメイン構造, スカ フォールドタンパ ク質, クロマトグ ラフィー, 電気泳 動, ELISA, ウエ スタンプロッティ ング法, 質量分析	エリオット生 化学・分子 生物学(第 5版)p55~ p56, p72~ p85配布資料
5	4月24日(水)	Ⅲ	第一講義室	遺伝子生 化学	瀧口	講義	DNA複製2: 複製フォーク, テロメア合成	岡崎フラグメント, プライマー-RNA, ヘリカーゼ, トポ イソメラーゼ, 校 正, テロメラーゼ	エリオット生 化学・分子生 物学(第5版) p346~p352 配布資料
6		Ⅳ	第一講義室	遺伝子生 化学	岩瀬	講義	転写と転写後 修飾	RNAポリマー ゼ, mRNA, rRNA, tRNA, スプライ シング, エクソン, イントロン, キャ ップ構造, ポリA テイル, RNA編集	エリオット生 化学・分子生 物学(第5版) p361~p372 配布資料

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担 当 教 員	授 業 種 別	授 業 内 容	key word	授 業 課 題 (予習, 自習課題)
7	5月8日(水)	Ⅲ	第一講義室	遺伝子生 化学	岩瀬	講義	転写調節	プロモーター, オ ペロン, エンハン サー, 基本転写因 子, 転写調節因子, メデイエーター, クロマチン再構成	エリオット生 化学・分子生 物学(第5版) p366~p368, p396~p410 配布資料
8		Ⅳ	第一講義室	遺伝子生 化学	守屋	講義	タンパク質の 合成	コドン, 読み枠, 変異, リボソーム, tRNA, 翻訳因子, シャペロン, モル テングロビュール	エリオット生 化学・分子生 物学(第5版) p373~p395 配布資料
9	5月10日(金)	Ⅲ	第一実習室	遺伝子生 化学	岩瀬 守屋 瀧口	実習	DNAの切断 と連結	大腸菌, プラスミ ドpUC19, 制限 酵素, アガロース ゲル電気泳動, 蛍 光染色, DNAリ ガーゼ	配布資料
10		Ⅳ	第一実習室			実習			
11	5月15日(水)	Ⅲ	第一実習室	遺伝子生 化学	岩瀬 守屋 瀧口	実習	大腸菌へのプ ラスミドの導 入	コンピテントセル, 形質転換, β -ラ クタマーゼ, アン ピシリン, β -ガ ラクトシダーゼ, X-gal	配布資料
12		Ⅳ	第一実習室			実習			
13	5月17日(金)	Ⅲ	第一実習室	遺伝子生 化学	岩瀬 守屋 瀧口	実習	PCRによる 組換え体の確 認	大腸菌コロニー, ブルー/ホワイト トセレクション, PCR, 熱 耐 性 DNAポリメラー ゼ, プライマー	配布資料
14		Ⅳ	第一実習室			実習			
15	5月22日(水)	Ⅲ	第一講義室			予備			
16		Ⅳ	IT室			中間 試験			
17	5月29日(水)	Ⅲ	第一講義室	遺伝子生 化学	守屋	講義	タンパク質の 輸送と分解	小胞体, ゴルジ 装置, リソソ ーム, プレタンパク 質, プロテアーゼ, プロテアーゼイン ヒビター, プロテ アソーム, ユビキ チン, オートファ ジー	エリオット生 化学・分子生 物学(第5版) p157~p159, p392~p395, p419~p435, p508~p511 配布資料

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担 当 教 員	授 業 種 別	授 業 内 容	key word	授 業 課 題 (予習, 自習課題)
18	5月29日(水)	Ⅳ	第一講義室	遺伝子生 化学	瀧口	講義	アミノ酸代謝 1:窒素代謝 の動的平衡, アンモニア解 毒, アミノ基 転移反応, 酸 化的脱アミノ 反応	窒素平衡, 尿素排 泄, グルコース- アラニンサイク ル, アミノトラン スフェラーゼ, ピ リドキサルリン酸, シッフ塩基, グル タミン酸脱水素酵 素	エリオット生 化学・分子生 物学(第5版) p259~p262, p265~p266 配布資料
19	6月5日(水)	Ⅱ	第一講義室	遺伝子生 化学	瀧口	講義	アミノ酸代謝 2:オルニチ ンサイクル, 炭素骨格の代 謝, アミノ酸 代謝の異常, 1炭素単位	尿素合成, 高アン モニア血症, 糖原 性, ケト原性, フェ ニルケトン尿症, 分枝鎖ケトン尿症 (メープルシロッ プ尿症), S-ア デノシルメチオニ ン, テトラヒドロ 葉酸	エリオット生 化学・分子生 物学(第5版) p262~p265, p266~p269, p277~p279, p282~p284 配布資料
20		Ⅳ	第一講義室	遺伝子生 化学	瀧口	講義	アミノ酸に由 来する生体分 子	1炭素単位, テト ラヒドロ葉酸, コ バラミン, S-ア デノシルメチオニ ン, メチルマロン 酸尿症, 悪性貧血, カテコールアミン, セロトニン, ヒ スタミン, GABA, メラトニン, ヘム, クレアチン, 甲状 腺ホルモン	エリオット生 化学・分子生 物学(第5版) p277~p279, p282~p284 配布資料
21	6月19日(水)	Ⅲ	第一講義室	遺伝子生 化学	瀧口	講義	ヌクレオチド 代謝1:概論, プリンの新規 合成と異化	5-ホスホリボシ ル1-ピロリン酸 (PRPP), イノシ ン-リン酸, リボ ヌクレオチドレダ クターゼ, キサン チンオキシダー ゼ, 痛風, アロプ リノール, アデノ シンデアミナーゼ, 重症免疫不全症候 群	エリオット生 化学・分子生 物学(第5版) p274~p279 配布資料

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担 当 教 員	授 業 種 別	授 業 内 容	key word	授 業 課 題 (予習, 自習課題)
22	6月19日(水)	Ⅳ	第一講義室	遺伝子生 化学	岩瀬	講義	細胞膜とシグ ナル伝達	リボソーム, ミセ ル, 両親媒性分子, リン脂質, コレス テロール, 受動輸 送, 能動輸送, 膜 タンパク質, シグ ナル分子, チロシ ンキナーゼ型受容 体, Gタンパク質 共役型受容体, 核 内受容体, セカン ドメッセンジャー	エリオット生 化学・分子生 物学(第5版) p103~p117, p460~p488 配布資料
23	6月26日(水)	Ⅲ	第一講義室	遺伝子生 化学	瀧口	講義	スクレオチド 代謝2:プリ ンの再利用経 路, ピリミジ ンの新規合 成・異化・再 利用経路	サルベージ経路, ヒポキサンチン- グアニンホスホリ ボシルトランス フェラーゼ, レッ シューナイハン症 候群, カルバモイ ルリン酸, オロト 酸, チミジル酸シ ンターゼ, 抗癌剤, 5-フルオロウラ シル, メソトレキ セート, アミノプ テリン	エリオット生 化学・分子生 物学(第5版) p279~p283 配布資料
24		Ⅳ	第一講義室	千葉県がんセン ター	田川	講義	特別講義: 遺 伝子と疾患		配布資料
25	7月3日(水)	Ⅲ	第一講義室	遺伝子生 化学	守屋	講義	細胞骨格	アクチン, ミオシ ン, チュープリ ン, ケラチン, キ ネシン, ダイニン, モータータンパク 質, 中心体, 紡錘 体, キネトコア	エリオット生 化学・分子生 物学(第5版) p127~p143 配布資料
26		Ⅳ	第一講義室	宮崎大学 医学部	森下	講義	特別講義: 白 血病のお話		配布資料
27	7月10日(水)	Ⅲ	第一講義室			予備			
28		Ⅳ	IT室			試験			

担当：分子腫瘍学

	授業実施日	時限	場 所	所 属	担 当 教員	授業 種別	授業内容	key word	授 業 課 題 (予習, 自習課題)
1	4月11日(木)	IV	第一講義室	分子腫瘍学	金田	講義	臨床における生化学の意義を理解する。糖代謝(1): 糖代謝の骨格を学習する。	生体エネルギー, グルコース, ATP, 糖代謝経路の概要	配布資料イラストレイテッドハーパー・生化学 [原書30版] 11, 14, 17-20, 43章
2	4月12日(金)	IV	第一講義室	分子腫瘍学	岡部	講義	酵素: 酵素の特徴, 生体触媒としての役割を学習する。酵素の反応速度論, 活性調節の機構を学習する。	生体触媒, 分類, 精製法, ミカエリスメンテン式, K_m (ミカエリス定数), V_{max} (最大速度), 活性調節	配布資料イラストレイテッドハーパー・生化学 [原書30版] 7-9章
3	4月18日(木)	IV	第一講義室	分子腫瘍学	金田	講義	糖代謝(2): 糖代謝経路の調節を学習する。	解糖, グリコーゲン合成と分解, ペントースリン酸経路, 糖新生, 血糖	配布資料イラストレイテッドハーパー・生化学 [原書30版] 9, 11, 14, 17-20章
4	4月19日(金)	III	第一実習室	分子腫瘍学	金田 喜多 松坂 岡部 篠原 星居	実習	生命現象の科学の基本である酵素反応速度論を理解する。	酵素, ミカエリスメンテン式, K_m (ミカエリス定数), V_{max} (最大速度), 酵素阻害剤	実習書
5		IV	第一実習室						
6	4月25日(木)	IV	第一講義室 第二講義室 第三講義室 組織実習室 西南セミナー室 中央セミナー室	分子腫瘍学	金田 喜多 松坂 岡部 篠原 星居	演習	酵素反応と酵素タンパク質の精製法についての理解を深める。	生体触媒, 分類, 精製法	イラストレイテッドハーパー・生化学 [原書30版] 7-9章
7	4月26日(金)	III	第一講義室	分子腫瘍学	金田	講義	脂質代謝(1): エネルギー源としての脂質の異化と同化の機構を理解する。	単純脂質, 複合脂質, 脂質合成と分解, リン脂質, コレステロール, 多価不飽和脂肪酸	配布資料イラストレイテッドハーパー・生化学 [原書30版] 21, 22-26, 43章
8	5月24日(金)	III	第一講義室	分子腫瘍学	松坂	講義	ビタミンとホルモン	脂溶性ビタミン, 水溶性ビタミン, 内分泌系, 代謝調節, ホメオスタシス, 受容体	配布資料イラストレイテッドハーパー・生化学 [原書30版] 41, 42, 44章

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担 当 教員	授業 種別	授業内容	key word	授 業 課 題 (予習, 自習課題)
9	5月24日(金)	Ⅳ	第一講義室	分子腫瘍学	松坂	講義	生体酸化(1): クエン酸回路の意義と生体がATPを獲得する分子機構を学習する。	ミトコンドリア, クエン酸回路, 酸化的リン酸化, 電子伝達系, 脱共役	配布資料イラストレイテッドハーパー・生化学 [原書30版] 12, 13, 14, 16章
10	5月31日(金)	Ⅲ	第一講義室	分子腫瘍学	金田	講義	脂質代謝(2): 生体構成成分としての脂質の役割や脂質の輸送・蓄積を学習する。	リン脂質, コレステロール, 多価不飽和脂肪酸, リポタンパク質	配布資料イラストレイテッドハーパー・生化学 [原書30版] 21, 22-26, 43章
11		Ⅳ	第一講義室	分子腫瘍学	松坂	講義	生体酸化(2): 活性酸素などのフリーラジカルの生物学的影響を学習する。	電子伝達系, 活性酸素, フリーラジカル	配布資料イラストレイテッドハーパー・生化学 [原書30版] 12, 13, 14, 16, 45章
12	6月7日(金)	Ⅳ	第一講義室	分子腫瘍学	篠原星居	講義	食品と栄養に関する課題について自己の尿成分の分析から考察し, 尿実習の意義を理解する。	尿素, アンモニア, 尿酸, アミノ酸	配布資料イラストレイテッドハーパー・生化学 [原書30版] 14, 28, 48章実習書
13	6月12日(水)	Ⅱ	第一実習室	分子腫瘍学	金田 喜多 松坂 岡部 篠原 星居	実習	自らの尿中の含窒素化合物を測定することにより, 尿の生理上の役割を理解する。	尿素, アンモニア, アミノ酸, pH	実習書
14		Ⅲ							
15		Ⅳ							
16	6月14日(金)	Ⅱ	第一実習室	分子腫瘍学	金田 喜多 松坂 岡部 篠原 星居	実習	自らの尿中の含窒素化合物を測定することにより, 尿の生理上の役割を理解する。	尿素, アンモニア, アミノ酸, pH	実習書
17		Ⅲ							
18		Ⅳ							

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担 当 教員	授業 種別	授業内容	key word	授 業 課 題 (予習, 自習課題)
19	6月21日(金)	Ⅲ	第一講義室	筑波大学内分泌代謝・糖尿病内科	矢作直也	講義	生理活性物質 (脂質など)	エイコサノイド, アラキドン酸カスケード	配布資料イラストレイテッド ハーパー・生化学 [原書30版] 21, 23章
20		Ⅳ	第一講義室	筑波大学内分泌代謝・糖尿病内科		講義	代謝シグナル の制御	ニュートリゲノミクス	配布資料実験医学増刊号「遺伝子制御の新たな 主役 栄養シグナル」
21	6月27日(木)	Ⅳ	第一講義室	分子腫瘍学	篠原星居	講義	複合糖質の機能と代謝を理解する。	多糖, プロテオグリカン, 糖タンパク質, 糖脂質, レクチン	配布資料イラストレイテッド ハーパー・生化学 [原書30版] 15, 46, 50章
22	6月28日(金)	Ⅳ	第一講義室	分子腫瘍学	岡部	講義	代謝異常・分子病における生化学の意義を理解する。	代謝異常, DNA修復異常, 分子病	配布資料
23	7月4日(木)	Ⅳ	第一講義室 大カンファ室 第三講義室 組織実習室 西南セミナー室 中央セミナー室	分子腫瘍学	金田喜多 松坂 岡部 篠原星居	演習	糖代謝と脂質代謝を食品・栄養に関連付けて理解を深める。	グリオキシル酸サイクル, アセチルCoA, 栄養学, 代謝学, 食品科学	イラストレイテッド ハーパー・生化学 [原書30版] 14, 43章
24	7月5日(金)	Ⅳ	第一講義室	分子腫瘍学	松坂	講義	代謝の相互関係と病態を学習する。	代謝経路, 血糖, 糖尿病	配布資料イラストレイテッド ハーパー・生化学 [原書30版] 14, 19, 57章
25	7月12日(金)	Ⅲ	第一講義室			予備			
26		Ⅳ	第一講義室			予備			
27	7月19日(金)	Ⅱ	IT室			試験			

肉眼解剖学ユニット

- 1) ユニット名 肉眼解剖学
- 2) ユニット責任者 森 千里
- 3) ユニット期間 T4-5
- 4) ユニットの概要

医学を修得するための基礎として、人体について器官から個体までの構造と機能を理解し、考察できる能力を身に付ける。ここでは全身における脈管、内臓、末梢神経の構造と構成について系統的に学習するとともに、骨格や筋肉を含めて、それぞれがどのような位置関係にあるか、機能的にどのように関連する構成をとっているかについて学ぶ。さらに、生命の尊厳や守秘義務について考え、医師としての心構えについて学ぶ。講義・実習ともICTを用いた双方向授業を取り入れていく予定である。

5) ユニットのゴール、学習アウトカムと科目達成レベル

・ゴール

肉眼解剖講義：

各種器官系における内臓の構造及び機能について理解し、医学の基本となる人体構造に関する基礎知識と、疾病や外傷がどのような症状を引き起こすのかの理屈に迫る。

肉眼解剖学実習（骨筋学含む）：

1. CTやMRIといった医療画像と解剖する実体を相互にリンクさせ、臨床に必須な解剖構造の感覚を掴む。
2. 人体構造の普遍性と個性（破格を含む）を認識する。
3. 「献体」について学び、その意義について考える。生命の尊厳や守秘義務について考える。
4. チーム医療を想定し、知識・行動力・熱意のレベルが違うメンバーで構成される実習班で、最高のパフォーマンスを出すために個人が出来ること、リーダーがすべきことを考える契機とする。

・コンピテンス達成レベル表

学習アウトカム		科目達成レベル (肉眼解剖学)
I. 倫理観とプロフェッショナリズム		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者とその関係者、医療チームのメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するための態度、倫理観を有して行動できる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたり向上を図ることができる。		
1	倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。 ・ 献体を解剖させて頂くことを通じて、献体者・遺族の思い、学生が死体を解剖することの倫理的問題を理解する。	C
2	法的責任・規範を遵守する。 ・ 解剖体に関する個人情報は守秘する。 ・ スマートフォン等による撮影・録画・録音の禁止を遵守する。 ・ 解剖に関する情報の漏洩禁止を遵守する。	C
3	他者の尊厳を尊重し、利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。 ・ 考え方の違う班員同士で患者（解剖体）に対してベストな治療（解剖）を行う。 ・ 解剖体を正しく納棺し、献花して感謝を捧げる。実習感想文を提出する。 ・ 慰霊祭に出席し、真摯な態度で慰霊を行う。	C
		基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である

学習アウトカム		科目達成レベル (肉眼解剖学)
4	患者とその関係者の心理・社会的要因と異文化，社会背景に関心を払い，その立場を尊重する。 ・ 献体の解剖を通じて，生前に罹患した疾病の痕跡から，献体者の社会背景を推察し，共感する。	C 基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である
5	常に自己を評価・管理し，自分の知識，技能，行動に責任を持つことができる。 ・ 長期にわたる肉眼解剖実習を通じ，自分のためだけでなく，献体者・遺族の思い，同僚とのチームワークにおいても，体調管理・予習・復習など自己をコントロールすることの重要性を学ぶ。	C
6	専門職連携を実践できる。 ・ グループ内，グループ間で協力しながら，実習課題について効率よく学習することができる。	C
7	自らのキャリアをデザインし，自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。 ・ 予習，復習，解剖体ごとの違いを通じて，「身体の不思議」を自ら学ぼうとする姿勢を持つ。	C
8	同僚，後輩に対する指導，助言ができる。 ・ グループ内，グループ間で協力し，剖出や理解が難しい箇所の指導，助言ができる。	C
II. コミュニケーション		
千葉大学医学部学生は，卒業時に 他者を理解し，お互いの立場を尊重した人間関係を構築して，医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。		
1	患者，患者家族，医療チームのメンバーと，個人，文化，社会的背景を踏まえて傾聴，共感，理解，支持的態度を示すコミュニケーションを実施できる。 ・ 個人の役割／責任と，グループ内／グループ間での協調性の重要性を理解し，目的を遂行するための高いコミュニケーション能力を発揮できる。	C 基盤となる態度，スキルを示せることが単位認定の要件である
2	コミュニケーションにより，患者，患者家族，医療チームのメンバーとの信頼関係を築き，情報収集，説明と同意，教育など医療の基本を実践できる。 ・ 個人の役割／責任と，グループ内／グループ間での協調性の重要性を理解し，目的を遂行するための高いコミュニケーション能力を発揮できる。	C
III. 医学および関連領域の知識		
千葉大学医学部学生は，卒業時に 医療の基盤となっている以下の基礎，臨床，社会医学等の知識を有し応用できる。		

学習アウトカム		科目達成レベル (肉眼解剖学)
1	正常な構造と機能 ・骨格や関節の構成や構造について説明できる。 ・骨格筋の起始・停止・支配神経・働きについて説明できる。 ・心臓の構造およびそこに分布する血管について説明できる。 ・全身の筋および内臓に分布する血管系について説明できる。 ・消化器系、呼吸器系、泌尿生殖器系、内分泌系、感覚器系の各器官の位置と構造、機能について説明できる。 ・脳神経および脊髄神経の構成と分布部位および機能について説明できる。 ・筋、靭帯、神経、血管、内臓を正しく解剖し、諸構造の機能的な関連性を念頭におきながら観察することができる。	D 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
2	発達、成長、加齢、死 ・加齢性の変化、死後の変化を観察することができる。	D 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
4	病因、構造と機能の異常 ・病変、手術痕、破格などについてその病因、原因を推察することができる。 ・剖出した解剖体の不明な点について、資料をもとに自分たちの力で解明することができる。	D

6) 評 価 法

評価は中間試験 (wbt) 50%、最終試験 (wbt) 50%である。単位認定要件として、中間試験・最終試験の両方で60点以上であること、所定の出席、実習感想文の提出が必要である。中間試験で60点未満となり単位認定が得られなくなったとしても、献体してくださった方の恩に報いるために解剖実習は最後まで班員と協力して遂行することが望ましい。

詳細は以下に記載の通り。

1) 倫理的な評価について

倫理的に問題となる行動、禁止事項への抵触は、退学等の厳正な処分が下される可能性がある。

2) 出席について

出席は授業開始時に一度行う。着席していない者は欠席となる。

講義はTBLを導入しているため、遅刻・欠席による情報の欠落は著しく大きい。必ず出席すべきである。

前半 (中間試験まで)、後半 (最終試験まで) で、それぞれ1/3を超える欠席は単位を認めない。

実習 (骨筋学含む) については基本的に全出席が単位認定要件である。

断り無く遅刻・欠席・早退をする者には、単位を認めない。何らかの事情により遅れる場合は、必ず班員に連絡すること。(疾病・ケガ、あるいは公的機関の遅延による欠席は、診断書、遅延証明書をもって出席扱いとする。公欠に該当する場合は、公欠届けを学務係に提出すること。)

3) 試験について

試験は、中間試験と最終試験がある。それぞれ、wbt (100点満点) と講義の課題点 (最大2点) で構成される。課題は、宿題・確認テスト・アンケートの3つで構成される。当該授業に出席した上で、これを定められた期限内に提出した場合に1回分の課題提出と認める。課題点は、各試験範囲の講義の課題をすべて提出した学生には2点、1回のみ未提出は1点与えられるものとする。ただし、この課題点は各本試験・追試験のみに加算し、再試験には反映しない。

4) 実習感想文 (必須)

納棺式後、提出期間 (2020年1月9日～15日17時メ切) までに実習の感想文の提出が必要である。未提出は単位を認めない。

感想文は数名が白菊会役員により選抜され、白菊会会報、篤志解剖全国連合会に実名で掲載される。

白菊会会員や家族、一般人に読まれることになるため、わかりやすい、丁寧な言葉で感謝の意を表すこと。

内容	想起	解釈	応用・問題解決	計
骨格系	3	4	4	11%
筋肉系	3	5	4	12%
循環器系	3	4	4	11%
末梢神経系	3	4	4	11%
呼吸器系	3	4	4	11%
消化器系	3	4	4	11%
泌尿生殖器系	3	4	4	11%
内分泌系	3	4	4	11%
感覚器系	3	4	4	11%
計	27%	46%	27%	100%

7) 授業スケジュール

P.42～50参照

8) 実 習 書 (必須：全員同じ物を購入する)

グラント解剖学実習 新井良八監訳、西村書店

9) 教 科 書 (アトラスと参考書、両方持つことを推奨する)

※実習書は解剖手順しか書いていない。別途、以下のアトラス・参考書・アトラス兼参考書の中からアトラスと参考書に該当する書籍を購入し、実習室に持参すること (持ち込みはコピーでも可能)。アトラスだけでは宿題や試験には対応できないので注意。

アトラス (図譜) (絵や写真が主体で解説がほとんどない)

ネッター解剖学アトラス 相磯訳、南江堂

グレイ解剖学アトラス 塩田ら訳、エルゼビア・ジャパン

参 考 書 (解説が詳しいが絵や写真が少ない)

グレイ解剖学 塩田ら訳、エルゼビア・ジャパン

解剖学講義 伊藤著、南山堂

アトラス兼参考書 (解説・絵が共に豊富だが、3冊に分かれている)

プロメテウス解剖学アトラス (以下の3冊で1セット) 坂井建雄, 松村譲児監訳, 医学書院総論/運動器系, 頭頸部/神経解剖, 胸部/腹部・骨盤部

CT・MRI・血管造影等の画像解剖

CT・MRI画像解剖ポケットアトラス 町田監訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル

CT・MRI解体新書-正常解剖 LibroScience (書籍・アプリ)

画像で見る人体解剖アトラス 多田・栗栖 訳 エルゼビア・ジャパン

(アプリについては、タブレット, スマートフォン, PC等には実習室には持ち込み禁止のため自宅学習用である)

配 布 資 料

適宜講義スライドのハンドアウト (Moodle参照)

※付 記

適宜、実習（授業）内容に即した臨床医が実習の指導に加わることもある。

肉眼解剖実習に関連した行事として、下記の儀式が開催される。前年に肉眼解剖実習を行った学生は必ず全員参加し、献体された故人へ感謝の意を表すること。服装・髪型は社会常識に併せて出席する必要がある。詳細については事前に掲示する。

予定日時：実習終了後（2020年）の5月～6月の土曜日1日（例：現3年生は2019年6月8日土曜日を予定）

午前：千葉白菊会総会（参加者は白菊会会員）

午後：解剖慰霊祭・御遺骨返還式・感謝状伝達式（参加者は御遺族）

・授業スケジュール

12時50分に出席確認後、Pre testを実施する。その後適宜臨床解剖講義や補足講義を行ってから実習開始となる。進捗状況によるが16時～17時の間にその日の解剖内容に合わせたpost testと解説（30分程度）を予定している。

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担 当 教 員	授 業 種 別	授 業 内 容	key word	授 業 課 題 (予習, 自習課題)
1	10月2日(水)	II	組織実習室	環境生命医学	森 千里 鈴木崇根 鈴木 都	講義	肉眼解剖学 はじめの一步	シラバス active learning Team Based Learning	授業の構成, 宿題, 予習の 仕方の説明が あるので, 遅 刻せず必ず出 席すること。 インターネット に接続でき る端末を持参 すること。
2		III	組織実習室	環境生命医学	鈴木崇根 鈴木 都	講義	解剖講義 (背部・脊椎)	脊柱起立筋・ 脊椎・神経	骨 標 本 使 用 取 扱 注 意
3	10月4日(金)	II	第一講義室	環境生命医学 機能形態学	全員	講義	実習ガイダンス	白菊会紹介 実習の注意点	白菊会, 医学 部長も参加す る。静かに着 席して待つ。 私語・遅刻厳 禁。
4		III	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員	実習	背部1 実習書p 5-9	皮膚と皮下組 織	実習器具・実 習 書・解 剖 アトラス (コ ピー可) を必 ず実習室へ 持参すること。 貴重品・ スマホは更衣 室で各自保 管すること。 土足禁止でク ロックス・上 履きなど準 備。
5		IV V	解剖実習室						
6	10月7日(月)	III	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員	実習	背部2 実習書p 9-12	背部の浅層の 筋群, 背部中 間層の筋群, 背部深層の筋 群	
7		IV V	解剖実習室						

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担 当 教 員	授 業 種 別	授 業 内 容	key word	授 業 課 題 (予習, 自習課題)
8	10月9日(水)	II	組織実習室	環境生命医学	鈴木崇根 松山善之	講義	解剖講義 (骨・関節)		課題①
9		III	組織実習室	環境生命医学 機能形態学	松山善之 全員	実習	骨筋学実習 (上肢)	上肢の骨・筋	組織実習室で 行う 骨標本使用 取扱注意 教科書・参考 書・筆記用具 持参
10		IV	組織実習室						
11	10月11日(金)	II	第一講義室	環境生命医学	鈴木崇根 松山善之	講義	解剖講義 (上肢①)		課題②
12		III	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員 小宮山政敏 志賀康浩 (整形外科)	実習	背部3 実習書p13-17	後頭下部, 脊 柱管, 脊髓, 髄膜, 脊髓の 取り出し	
13		IV V	解剖実習室						
14	10月16日(水)	III	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員 落合信靖 (整形外科)	実習	上肢1 実習書p19-26	表在静脈と皮 神経, 背部浅 層の筋群, 肩 甲部, 胸筋部, 胸筋部の筋群	
15		IV V	解剖実習室						
16	10月18日(金)	II	第一講義室	環境生命医学	鈴木崇根 松山善之	講義	解剖講義 (上肢②)		課題③
17		III	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員	実習	上肢2 実習書p27-34	腋窩, 上腕と 肘窩	

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担 当 教 員	授 業 種 別	授 業 内 容	key word	授 業 課 題 (予習, 自習課題)
18	10月18日(金)	Ⅳ Ⅴ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員	実習	上肢2 実習書p27-34	腋窩, 上腕と 肘窩	
19	10月21日(月)	Ⅱ	第一講義室	環境生命医学	鈴木崇根 鈴木 都	講義	解剖講義 (胸部)		課題④
20		Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員 小宮山政敏	実習	上肢3 実習書p34-42	前腕の屈筋領 域, 手掌	
21		Ⅳ Ⅴ	解剖実習室						
22	10月23日(水)	Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員	実習	上肢4 実習書p43-48	前腕の伸筋領 域と手背, 上 肢の関節	
23		Ⅳ Ⅴ	解剖実習室						
24	10月25日(金)	Ⅱ	第一講義室	環境生命医学	鈴木 都 松山善之	講義	解剖講義 (腹部①)		課題⑤
25		Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員 坂入祐一 (呼吸器外科)	実習	胸部1 実習書p49-61	胸筋部, 肋間 隙と肋間筋, 前胸壁の切除 胸膜腔, 肺, 縦隔, 中縦隔	
26		Ⅳ Ⅴ	解剖実習室						
27	10月28日(月)	Ⅱ	第一講義室	環境生命医学	松山善之 鈴木 都	講義	解剖講義 (腹部②)		課題⑥
28		Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員 小宮山政敏 松浦 馨 (心臓血管 外科)	実習	胸部2 実習書p61-70	心臓の外景, 心臓の内景, 上縦隔, 後縦 隔	
29		Ⅳ Ⅴ	解剖実習室						

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担当 教員	授業 種別	授業内容	key word	授業課題 (予習, 自習課題)
30	10月30日(水)	Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員	実習	腹部1 実習書p71-82	前外側腹壁の皮下組織, 前外側腹壁の筋群, 腹壁の翻転, 腹膜と腹膜腔	
31		Ⅳ Ⅴ	解剖実習室						
32	11月6日(水)	Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員 小宮山政敏 鈴木大亮 (肝胆膵外科)	実習	腹部2 実習書p82-90	腹腔動脈, 胃脾臓, 肝臓, 胆嚢, 上腸間膜動脈と小腸	
33		Ⅳ Ⅴ	解剖実習室						
34	11月8日(金)	Ⅱ	第一講義室	環境生命医学	鈴木崇根 鈴木 都	講義	解剖講義 (腹部③)		課題⑦
35		Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員 今西俊介 (食道・胃腸外科)	実習	腹部3 実習書p90-95	下腸間膜動脈と大腸, 十二指腸, 膵臓, 肝門脈, 胃腸管の取り出し	
36		Ⅳ Ⅴ	解剖実習室						
37	11月11日(月)	Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員 市川智彦 (泌尿器科)	実習	腹部4 実習書p95-101	後腹膜臓器, 後腹壁, 横隔膜	
38		Ⅳ Ⅴ	解剖実習室						
39	11月13日(水)	Ⅱ	IT室				中間試験	背部・上肢・胸部・腹部	
40	11月15日(金)	Ⅱ	第一講義室	環境生命医学	鈴木崇根 鈴木 都	講義	解剖講義 (骨盤会陰①)		課題⑧

	授業実施日	時限	場 所	所 属	担当 教員	授業 種別	授業内容	key word	授業課題 (予習, 自習課題)
41	11月15日(金)	Ⅲ	組織実習室	環境生命医学 機能形態学	松山善之 全員	実習	骨筋学実習 (下肢)	下肢の骨・筋	組織実習室で 行う 骨標本使用 取扱注意 教科書・参考 書・筆記用具 持参
42		Ⅳ Ⅴ	組織実習室						
43	11月18日(月)	Ⅱ	第一講義室	環境生命医学	鈴木崇根 松山善之	講義	解剖講義 (骨盤会陰②)		課題⑨
44		Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員	実習	骨盤会陰 1 男性 実習書 p103-112 女性 実習書 p105-107 p121-124	肛門三角, 外 生殖器と会陰 尿生殖三角	
45		Ⅳ Ⅴ	解剖実習室						
46	11月20日(水)	Ⅱ	IT 室				中間試験追試	背部・上肢・ 胸部・腹部	
47		Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員 小宮山政敏 楯 真一 (産婦人科)	実習	骨盤会陰 2 男性 実習書 p113-116 女性 実習書 p124-129	骨盤腔, 膀胱 直腸, 肛門管	
48		Ⅳ Ⅴ	解剖実習室						
49	11月22日(金)	Ⅱ	第一講義室	環境生命医学	鈴木 都 松山善之	講義	解剖講義 (下肢①)		課題⑩
50		Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員	実習	骨盤会陰 3 男性 実習書 p117-120 女性 実習書 p129-133	内腸骨動脈と 仙骨神経叢, 骨盤隔膜	

	授業実施日	時限	場 所	所 属	担当 教員	授業 種別	授業内容	key word	授業課題 (予習, 自習課題)
51	11月22日(金)	Ⅳ Ⅴ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員	実習	骨盤会陰 3 男性 実習書 p117-120 女性 実習書 p129-133	内腸骨動脈と 仙骨神経叢, 骨盤隔膜	
52	11月25日(月)	Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員 小宮山政敏	実習	下肢 1 実習書 p135- 143	表在静脈と皮 神経, 大腿の 前方区画	
53		Ⅳ Ⅴ	解剖実習室						
54	11月27日(水)	Ⅱ	IT 室				中間試験再試	背部・上肢・ 胸部・腹部	
55		Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員 中村順一 萩原茂生 中嶋隆行 (整形外科)	実習	下肢 2 実習書 p144- 151	大腿の内側区 画, 殿部, 大 腿の後方区画	
56		Ⅳ Ⅴ	解剖実習室						
57	11月29日(金)	Ⅱ	第一講義室	環境生命医学	鈴木 都 松山善之	講義	解剖講義 (下肢②)		課題⑪
58		Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員	実習	下肢 3 実習書 p152- 159	下腿と足背, 下腿の後方区 画, 下腿の外 側区画, 下腿 の前方区画と 足背	
59		Ⅳ Ⅴ	解剖実習室						
60	12月 2 日(月)	Ⅱ	第一講義室	環境生命医学	鈴木崇根 松山善之	講義	解剖講義 (頸部)		課題⑫
61		Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員 小宮山政敏	実習	下肢 4 実習書 p159- 168	足底, 下肢の 関節	

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担 当 教 員	授 業 種 別	授 業 内 容	key word	授 業 課 題 (予習, 自習課題)
62	12月2日(月)	IV V	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員 小宮山政敏	実習	下肢4 実習書p159- 168	足底, 下肢の 関節	
63	12月4日(水)	III	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員	実習	頸部1 実習書p169- 176	頸部, 後頸三 角, 前頸三角	
64		IV V	解剖実習室						
65	12月6日(金)	II	第一講義室	機能形態学 環境生命医学	山本達也 鈴木 都	講義	解剖講義 (頭部①)		課題⑬
66		III	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員	実習	頸部2 実習書p176- 180	甲状腺と上皮 小体, 頸根	
67		IV V	解剖実習室						
68	12月9日(月)	III	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員 小宮山政敏 三川信之 (形成外科)	実習	頭部1 実習書p180- 188	頭部, 顔, 耳 下腺領域	
69		IV V	解剖実習室						
70	12月11日(水)	II	第一講義室	機能形態学 環境生命医学	山本達也 鈴木 都	講義	解剖講義 (頭部②)		課題⑭
71		III	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員	実習	頭部2 実習書p189- 206	頭皮, 側頭部 頭蓋の内部, 硬膜の折れこ みと硬膜静脈 洞, 頭蓋窩	
72		IV V	解剖実習室						

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担当 教員	授業 種別	授業内容	key word	授業課題 (予習, 自習課題)
73	12月13日(金)	Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員 横内裕敬 (眼科)	実習	頭部3 実習書p206- 212	眼窩	
74		Ⅳ Ⅴ	解剖実習室						
75	12月16日(月)	Ⅱ	第一講義室	東京歯科大学	阿部伸一	特別 講義	歯と嚙下の機 能解剖		講義室を清掃 し, 飲食物は 撤去して静か に待つ。遅刻 厳禁。
76		Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員 小宮山政敏 古矢丈雄 (整形外科)	実習	頭部4 実習書p212- 218	環椎後頭関 節, 頭蓋の脱 関節, 咽頭	
77		Ⅳ Ⅴ	解剖実習室						
78	12月18日(水)	Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員 花澤豊行 (耳鼻咽喉科)	実習	頭部5 実習書p218- 226	鼻と鼻腔, 硬 口蓋と軟口蓋	
79		Ⅳ Ⅴ	解剖実習室						
80	12月20日(金)	Ⅲ	解剖実習室	環境生命医学 機能形態学	全員 磯野史朗 (麻醉科)	実習	頭部6 実習書p226- 236	口部, 喉頭, 耳	
81		Ⅳ Ⅴ	解剖実習室						
82	12月25日(水)	Ⅱ	IT 室				最終試験	骨盤会陰, 下 肢, 頸部, 頭 部 (一部中間 の範囲を含 む)	
83	1月8日(水)	Ⅱ	IT 室				最終試験追試	骨盤会陰, 下 肢, 頸部, 頭 部 (一部中間 の範囲を含 む)	

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担 当 教 員	授 業 種 別	授 業 内 容	key word	授 業 課 題 (予習, 自習課題)
84	1月8日(水)	Ⅲ	解剖実習室		全員		納棺式	すべてに感謝して御遺体を納棺する。実習台, 実習室を隅々まで磨き上げ, 納棺式へ移行する	清掃可能な服装 (床の雑巾がけあり) 献花用の花 (各班毎に自由意志で)
85		Ⅳ Ⅴ	解剖実習室		全員		納棺式	納棺式後に白菊会との懇話会あり (例年18時頃解散)	実習感想文 (提出メ切 1/15 17時まで)
86	1月20日(月)	Ⅲ	IT 室				最終試験再試	骨盤会陰, 下肢, 頸部, 頭部 (一部中間の範囲を含む)	

発生学ユニット

- 1) ユニット名 発生学
 2) ユニット責任者 森 千里
 3) ユニット期間 T5
 4) ユニットの概要

解剖学で学ぶ正常構造が、どのように発生し形成されているかを学ぶ。

5) ユニットのゴール、学習アウトカムと科目達成レベル

・ゴール

発生学では人体の発生に伴う現象と、主要な器官や組織の発生過程およびそれらの先天異常について学ぶ。

・コンピテンス達成レベル表

学習アウトカム		科目達成レベル (発生学)	
I. 倫理観とプロフェッショナリズム			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者とその関係者、医療チームのメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するための態度、倫理観を有して行動できる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたり向上を図ることができる。			
5	常に自己を評価・管理し、自分の知識、技能、行動に責任を持つことができる。 講義の予習・復習を通して、自分の理解度を認識することができる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
II. コミュニケーション			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。			
III. 医学および関連領域の知識			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し応用できる。			
1	正常な構造と機能 ・身体の正常な構造を知る。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
2	発達、成長、加齢、死 ・体の発達と成長を説明できる。 ・動物の初期発生のメカニズムを説明できる。 ・生殖子の形成過程を説明できる。 ・受精の過程を説明できる。 ・胎盤形成を説明できる。 ・胚葉形成と器官の分化を説明できる。 ・神経系の発生とその異常を説明できる。 ・心臓と脈管の発生を説明できる。 ・顎・顔面の形成を説明できる ・泌尿生殖器系の発生を説明できる。 ・消化器系および呼吸器系の発生を説明できる。 ・内分泌系および感覚器系の発生を説明できる。 ・体腔の発生を説明できる。	D	

学習アウトカム		科目達成レベル (発生学)	
4	病因，構造と機能の異常 ・ヒトの先天異常について説明できる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
7	疫学，予防 ・薬物や環境が発生に与える影響を説明できる。	D	

6) 評価法

1) 出席について

出席はすべて授業開始時に一度行う。着席していない者は欠席となる。

1 / 3 を超える欠席は単位を認めない。

疾病・ケガ，あるいは公的機関の遅延による欠席は，診断書，遅延証明書をもって出席扱いとする。

公欠に該当する場合は，公欠届けを学務係に提出すること

2) 試験について

wbtを1回実施する。wbt(100点満点)と講義の課題点(最大2点)で構成される。

課題は，宿題・確認テスト・アンケートの3つで構成される。

当該授業に出席した上で，これを定められた期限内に提出した場合に1回分の課題提出と認める。課題点は，講義の課題をすべて提出した学生には2点，1回のみ未提出は1点与えられるものとする。ただし，この課題点は各本試験・追試験のみに加算し，再試験には反映しない。

発生学	想起	解釈	応用・問題解決	計
生殖形成・受精	10	5	5	20
初期発生	10	5	5	20
器官発生	40	10	10	60
計	60	20	20	100

7) 授業スケジュール

P53参照

8) 教科書

カラー図解 人体発生学講義ノート 塩田浩平著，金芳堂

参考書

受精卵からヒトになるまで 原著 Moore and Persaud，瀬口ら訳，医歯薬出版

配布資料

適宜講義スライドのハンドアウト

・授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担当教員	授業 種別	授業内容	key word	授業課題
1	1月10日(金)	Ⅱ	第一講義室	環境生命 医学	森 千里 鈴木崇根	講義	発生1 受精から 胚子まで	排卵, 受精, 着 床, 胚盤, 器官 分化, 咽頭弓	教科書の該当す る箇所を予習し ておく
2	1月20日(月)	Ⅱ	第一講義室	未定	未定	講義	発生2 胎児期	胎児の発育, 分 娩, 出生前診断, 胎盤, 胎膜, 発 生異常	教科書の該当す る箇所を予習し ておく
3	1月22日(水)	Ⅲ	第一講義室	環境生命 医学	鈴木 都 松山善之	講義	発生3 運動器系 (骨格と 筋)	軟骨, 骨, 脊柱, 頭蓋骨, 四肢の 形成	教科書の該当す る箇所を予習し ておく
4	1月24日(金)	Ⅱ	第一講義室	環境生命 医学	松山善之 鈴木 都	講義	発生4 消化器系 呼吸器系 体腔	舌・歯, 原腸, 消化管, 肝胆膵, 腸間膜, 気管, 肺	教科書の該当す る箇所を予習し ておく
5	1月27日(月)	Ⅱ	第一講義室	環境生命 医学	鈴木崇根 鈴木 都	講義	発生5 循環器系	心内膜筒, 心房 中隔, 心室中隔, 動脈, 静脈, 胎 児循環	教科書の該当す る箇所を予習し ておく
6	1月29日(水)	Ⅱ	第一講義室	環境生命 医学	森 千里 松山善之	講義	発生6 泌尿生殖 器系	前腎, 中腎, 後 腎, 膀胱, 副腎, 精巣, 卵巢, 生 殖器, 性分化, 先天異常	教科書の該当す る箇所を予習し ておく
7	1月31日(金)	Ⅱ	第一講義室	機能形態 学	山口 淳 鈴木 都	講義	発生7 神経系	神経板, 神経管, 神経堤, 脊髓, 脳	教科書の該当す る箇所を予習し ておく
8	2月3日(月)	Ⅱ	第一講義室	環境生命 医学	鈴木崇根 鈴木 都	講義	発生8 感覚器系	顔面, 鼻腔, 口 蓋, 眼, 耳, 皮 膚	教科書の該当す る箇所を予習し ておく
9		Ⅲ	第一講義室	未定	未定	講義	発生9 検討中	未定	
10	2月5日(水)	Ⅲ	IT室		全教員	試験	wbt		
11	2月12日(水)	Ⅲ	IT室		全教員	追試 験	wbt		
12	2月19日(水)	Ⅲ	IT室		全教員	再試 験	wbt		

神経科学ユニット

- 1) ユニット名 機能形態学
- 2) ユニット責任者 山口 淳
- 3) ユニット期間 後期
- 4) ユニットの概要

神経系の正常構造と機能を理解し、神経系疾患の病態生理、症候、診断の基礎を学ぶ。

5) ユニットのゴール、学習アウトカムと科目達成レベル

・ゴール

神経系の正常構造と機能を正しく把握し、神経系疾患の神経症状との関連を説明できる。

・コンピテンス達成レベル表

学習アウトカム		科目達成レベル (神経科学)
I. 倫理観とプロフェッショナリズム		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者とその関係者、医療チームのメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するための態度、倫理観を有して行動できる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたり向上を図ることができる。		
1	倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。 (1) 神経科学実習 1) 献体された脳に真摯に向き合い、黙祷して感謝を捧げる。また、その尊厳が尊重できる。 2) 解剖体に関する個人情報は守秘する。	C
2	法的責任・規範を遵守する。 (1) 神経科学実習 2) 解剖体に関する個人情報は守秘する。	C
3	他者の尊厳を尊重し、利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。 (1) 神経科学実習 1) 献体された脳に真摯に向き合い、黙祷して感謝を捧げる。また、その尊厳が尊重できる。	C
4	患者とその関係者の心理・社会的要因と異文化、社会背景に関心を払い、その立場を尊重する。 (1) 神経科学実習 1) 献体された脳に真摯に向き合い、黙祷して感謝を捧げる。また、その尊厳が尊重できる。 2) 解剖体に関する個人情報は守秘する。	C
5	常に自己を評価・管理し、自分の知識、技能、行動に責任を持つことができる。 (1) 神経科学実習 3) 解剖実習する箇所は各自が責任をもって予習及び復習を行い疑問点を解決する。	C

学習アウトカム		科目達成レベル (神経科学)
7	<p>自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。</p> <p>(1) 神経科学実習</p> <p>3) 解剖実習する箇所は各自が責任をもって予習及び復習を行い疑問点を解決する。</p> <p>4) 神経科学実習では、各グループ内で協力しながら実習を行い、各構造を機能的に関連付けて観察できる。</p>	C
8	<p>同僚、後輩に対する指導、助言ができる。</p> <p>(1) 神経科学実習</p> <p>3) 解剖実習する箇所は各自が責任をもって予習及び復習を行い疑問点を解決する。</p> <p>4) 神経科学実習では、各グループ内で協力しながら実習を行い、各構造を機能的に関連付けて観察できる。</p>	C
Ⅲ. 医学および関連領域の知識		
千葉大学医学部学生は、卒業時に医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し応用できる。		
1	<p>正常な構造と機能</p> <p>(2) 神経系の一般特性</p> <p>1) 中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる</p> <p>2) 主要な脳の血管支配を説明できる。</p> <p>3) 主な脳内神経伝達物質（アセチルコリン、ドパミン、ノルアドレナリン、グルタミン酸）とその作用を説明できる。</p> <p>4) 髄膜・脳室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できる。</p>	D
1	<p>(3) 脊髄と脊髄神経</p> <p>1) 脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる。</p> <p>2) 脊髄神経と神経叢（頸神経叢、腕神経叢、腰仙骨神経叢）の構成を概説できる。</p> <p>(4) 運動系</p> <p>1) 錐体路を概説できる。</p> <p>2) 小脳の構造を概説できる。</p> <p>3) 大脳基底核（線条体、淡蒼球、黒質）の線維結合を概説できる。</p> <p>(5) 感覚系</p> <p>1) 表在感覚と深部感覚の伝導路を説明できる。</p> <p>2) 視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の中枢神経内の局在を概説できる。</p> <p>(6) 自律機能と本能行動</p> <p>1) 視床下部の構造と機能を内分泌および自律機能と関連づけて概説できる。</p> <p>(7) 大脳と高次機能</p> <p>1) 大脳の構造を説明できる。</p> <p>2) 大脳皮質の機能局在（運動野・感覚野・言語野・連合野）を説明できる。</p> <p>(8) 脳幹と脳神経</p> <p>1) 脳幹の構造と伝導路を説明できる。</p> <p>2) 脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。</p>	D
1	<p>(9) 診断と検査の基本</p> <p>1) 脳・脊髄CT・MRI検査で得られる情報を神経解剖学的に理解する。</p> <p>2) 脳血管撮影検査で得られる情報を神経解剖学的に理解する。</p>	D

学習アウトカム		科目達成レベル (神経科学)	
2	発達, 成長, 加齢, 死 (10) 神経系の発達と加齢による変化及び神経障害・変性と神経細胞死 1) 神経管の分化と脳, 脊髄と自律神経系の形成過程を概説できる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
3	心理, 行動 (6) 自律機能と本能行動 1) 視床下部の構造と機能を内分泌および自律機能と関連づけて概説できる。 (7) 大脳と高次機能 1) 大脳の構造を説明できる。 2) 大脳皮質の機能局在(運動野・感覚野・言語野・連合野)を説明できる。	D	
4	病因, 構造と機能の異常 (9) 診断と検査の基本 3) 頻度の高い神経疾患の神経症状を, 神経解剖と関連づけて説明できる。	D	

6) 評価法

期末試験 (80%), 実習評価 及び レポート (20%)

内容	想起	解釈	応用・問題解決	計
神経系の一般特性	5	10	0	15%
脊髄と脊髄神経	5	5	0	10%
運動系	5	10	0	15%
感覚系	5	5	0	10%
自律機能と本能行動	5	5	0	10%
大脳と高次機能	5	5	0	10%
脳幹と脳神経	5	10	0	15%
診断と検査の基本	5	10	0	15%
計	40%	60%	0%	100%

7) 授業スケジュール

P.58~59参照

8) 教科書

1) 実習書:

配布資料

2) 解剖学アトラス:

ネッター解剖学アトラス (南江堂)

グレイ解剖学アトラス (南江堂)

3) 神経科学に関するもの:

病気がみえる⑦ 脳・神経 (メディックメディア)

カラー図解 人体の正常構造と機能 VIII神経系(1), IX神経系(2) (日本医事新報社)

カラー 神経解剖学 ジョン・H・マーティン著 (西村書店)

・授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担 当 教 員	授 業 種 別	授 業 内 容	key word	授 業 課 題
1	11月11日(月)	I	第一講義室	機能形態学	山口	講義	神経の一般特性1	中枢神経と末梢神経の構成, 神経伝達物質・血液脳関門	配付資料参照
2		II	第一講義室	機能形態学	山口	講義	神経の一般特性2・脊髄	髄膜・脳室系の構造, 脳脊髄液の産生と循環, 脊髄, 脊髄神経	配付資料参照
3	11月18日(月)	I	第一講義室	機能形態学	山口	講義	運動路1 (錐体路)	錐体路, 随意運動の発現経路	配付資料参照
4	11月20日(水)	I	第一講義室	機能形態学	山口	講義	運動路2 (大脳基底核, 小脳)	大脳基底核 (線条体, 黒質) の線維結合と機能 小脳の構造と機能	配付資料参照
5	11月22日(金)	I	第一講義室	機能形態学	山口	講義	体性感覚	一般体性感覚 (表在・深部感覚)	配付資料参照
6	11月25日(月)	I	第一講義室	機能形態学	山口	講義	特殊感覚1	特殊感覚 (視覚, 嗅覚, 味覚, 聴覚・平衡覚) の受容機序と伝導路	配付資料参照
7		II	第一講義室	機能形態学	山口	講義	特殊感覚2・自律神経	特殊感覚, 自律神経 (交感・副交感神経) の中枢内局在, 末梢分布, 機能と伝達物質	配付資料参照
8	11月27日(水)	I	第一講義室	機能形態学	山口	講義	大脳1	大脳の構造, 大脳皮質の機能局在	配付資料参照
9	11月29日(金)	I	第一講義室	機能形態学	山口	講義	大脳2	大脳の構造, 大脳皮質の機能局在, 海馬, 記憶	配付資料参照
10	12月2日(月)	I	第一講義室	機能形態学	山口	講義	脳幹・脳神経1	脳神経の名称, 局在, 走行・分布と機能	配付資料参照

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担 当 教 員	授 業 種 別	授 業 内 容	key word	授 業 課 題
11	12月4日(水)	I	第三講義室	機能形態学	山口	講義	脳幹・脳神経2	脳神経の名称, 局在, 走行・分布と機能	配付資料参照
12		II	第三講義室	機能形態学	山口	講義	脳血管	脳の血管支配, 脳のエネルギー代謝	配付資料参照
13	12月9日(月)	I	第一講義室	機能形態学	山口	講義	予備日		
14	12月13日(金)	I	組織実習室	機能形態学	教員全員	実習	脳血管と脳神経		配付資料参照
15		II	組織実習室	機能形態学	教員全員	実習	脳血管と脳神経		配付資料参照
16	12月18日(水)	I	組織実習室	機能形態学	教員全員	実習	小脳, 脳幹		配付資料参照
17		II	組織実習室	機能形態学	教員全員	実習	小脳, 脳幹		配付資料参照
18	12月20日(金)	I	組織実習室	機能形態学	教員全員	実習	大脳, まとめ		配付資料参照
19		II	組織実習室	機能形態学	教員全員	実習	大脳, まとめ		配付資料参照
20	1月31日(金)	III	IT室	機能形態学		試験	全範囲(講義, 実習)		
21	2月12日(水)	II	IT室	機能形態学		再試験	全範囲(講義, 実習)		

生理学ユニット

1) ユニット名 生理学

2) ユニット責任者 三木隆司

3) ユニットの概要

生理学は、感覚、運動などの神経性調節により果たされるいわゆる動物性機能を扱うものと、循環や呼吸の調節、ホルモンの働き等の植物性機能を扱うものとに大別されるが、代謝生理学、老年医学、認知行動生理学の各研究領域が各々を分担して教育にあたる。

4) ユニットのゴール、学習アウトカムと科目達成レベル

・ゴール

病態を正しく把握し、適切な治療方針が立てられるように、疾患の成り立ちと症状の関係、そして、診断・治療の原則を説明できる。

・コンピテンス達成レベル表

学習アウトカム		科目達成レベル (生理学)
Ⅲ. 医学および関連領域の知識		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し応用できる。		
1	正常な構造と機能 ● 神経・筋 1) 活動電位の発生機構と伝導を説明できる。 2) シナプス（神経筋接合部を含む）の形態とシナプス伝達の機能（興奮性、抑制性）と可塑性を説明できる。 3) 反射を説明できる。 4) 交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。 5) 視床下部の構造と機能を内分泌及び自律機能と関連付けて概説できる。 ● 心・血管（循環） 1) 毛細血管における物質・水分交換を説明できる。 2) 心周期にともなう血行動態を説明できる。 3) 心機能曲線と心拍出量の調節機序を説明できる。 4) 主な臓器（脳、心臓、肺、腎臓）の循環調節を概説できる。 5) 血圧調節の機序を説明できる。 ● 腎・泌尿器 1) 腎糸球体における濾過の機序を説明できる。 2) 尿細管各部における再吸収・分泌機構と尿の濃縮機序を説明できる。 3) 水電解質、酸・塩基平衡の調節機構を概説できる。 4) 腎で産生される又は腎に作用するホルモン・血管作動性物質（エリスロポエチン、ビタミンD、レニン、アンギオテンシンII、アルドステロン）の作用を説明できる。 5) アシドーシス・アルカローシス（代謝性・呼吸性）の定義、病態生理と診断を説明できる。	D

学習アウトカム	科目達成レベル (生理学)
<p>1 ●内分泌・生殖器</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 恒常性維持のための調節機構（ネガティブフィードバック調節）を説明できる。 2) ホルモンを構造から分類し作用機序と分泌調節機能を説明できる。 3) 各内分泌器官の位置を図示し，そこから分泌されるホルモンを列挙できる。 4) 視床下部ホルモン・下垂体ホルモンの名称，作用と相互関係を説明できる。 5) 甲状腺と副甲状腺（上皮小体）から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。 6) 副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。 7) 睪島から分泌されるホルモンの作用を説明できる。 8) 男性ホルモン・女性ホルモンの合成・代謝経路と作用を説明できる。 9) 生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。 10) 男性生殖器の形態と機能を説明できる。 11) 精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。 12) 陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。 13) 女性生殖器の形態と機能を説明できる。 14) 性周期発現と排卵の機序を説明できる。 <p>●消化器</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 消化管運動の仕組みを説明できる。 2) 消化器官に対する自律神経の作用を説明できる。 3) 肝の構造と機能を説明できる。 4) 胃液の作用と分泌機序を説明できる。 5) 胆汁の作用と胆嚢収縮の調節機序を説明できる。 6) 膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。 7) 小腸における消化・吸収の仕組みを説明できる。 8) 大腸における糞便形成と排便の仕組みを説明できる。 9) 主な消化管ホルモンの作用を説明できる。 10) 歯，舌，唾液腺の構造と機能を説明できる。 11) 咀嚼と嚥下の機構を説明できる。 <p>●呼吸器</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できる。 2) 肺気量分画，換気，死腔（換気力学（胸腔内圧，肺コンプライアンス，抵抗，クロージングボリューム（closing volume））を説明できる。 3) 肺胞におけるガス交換と血流の関係を説明できる。 4) 肺の換気と血流（換気血流比）が動脈血ガスにおよぼす影響（肺胞気-動脈血酸素分圧較差（alveolar-arterial oxygen difference <math>\langle A-aDO_2 \rangle</math>）を説明できる。 5) 呼吸中枢を介する呼吸調節の機序を説明できる。 6) 血液による酸素と二酸化炭素の運搬の仕組みを説明できる。 7) 気道と肺の防御機構（免疫学的・非免疫学的）と代謝機能を説明できる。 	<p>基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である</p> <p style="text-align: center;">D</p>

学習アウトカム		科目達成レベル (生理学)	
1	<p>●血液</p> <p>1) 造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。</p> <p>2) 主な造血因子（エリスロポエチン，顆粒球コロニー刺激因子（granulocyte-colony stimulating factor <G-CSF>），トロンボポエチン）を説明できる。</p> <p>3) 血漿タンパク質の種類と機能を説明できる。</p> <p>4) 赤血球とヘモグロビンの構造と機能を説明できる。</p>	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である

生理学とは生命現象を個体・器官・細胞の機能の面から生命現象を解明する学問である。生理学の授業が解剖学・生化学・組織学に先行して進められることもあるので、生理学講義で学ぶ器官の構造と基本的機能については、予め適切な参考書を選び、予習しておくこと。

5) 評価法

内容	想起	解釈	応用・問題解決	計
自律神経	1	2	2	5%
中枢生理学・心理学	2	4	4	10%
循環器	3	6	6	15%
消化器	4	8	8	20%
内分泌	4	8	8	20%
腎・泌尿器	2	4	4	10%
血液	1	2	2	5%
呼吸器	3	6	6	15%
計	20%	40%	40%	100%

6) 授業スケジュール

P.64～66参照

7) 教科書

- 小澤・福田・本間・大森・大橋（編）：標準生理学 医学書院（第8版）2014年 ISBN:978-4-260-01781-7
- Ganong 著（岡田泰伸ほか訳）：ギャノン生理学 原書25版 丸善 2017年 SBN:978-4-621-08717-6
- Tortora 著（桑木共之ほか訳）：トートラ人体の構造と機能 丸善 2012年 ISBN:978-4-621-08576-9
- Pocock, Richards 著（植村慶一監訳）：オックスフォード生理学 原書4版 丸善 2016年 ISBN:978-4-621-30008-4
- 大地陸男著：生理学テキスト第8版 文光堂 2017年 ISBN:978-4-8306-0229-0

・授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担 当 教 員	授 業 種 別	授 業 内 容	key word	授 業 課 題
1	4月10日(水)	II	第一講 義室	代謝生理学	波多野	講義	腎1：腎機能の 全体像, 糸球体 濾過	腎不全, 腎臓の構 造(ネフロン)と機 能区分, 糸球体濾過 クリアランス, 腎機 能調節	
2	4月11日(木)	II	第一講 義室	代謝生理学	三木	講義	消化1：食欲の 調節, 消化管機 能の一般原理	食欲, 消化管運動, 分泌・吸収過程	
3		III	第一講 義室	代謝生理学	三木	講義	消化2：消化管 各部位の機能	小腸, 大腸	
4	4月12日(金)	II	第一講 義室	長寿医学	真鍋	講義	循環1：循環器 末梢循環	循環, 血管系, リン パ系, 高血圧	
5		III	第一講 義室	代謝生理学	波多野	講義	腎2：尿細管各 部位の機能, 尿 濃縮, 排尿	近位尿細管, 遠位尿 細管, 対抗流, 尿濃 縮	
6	4月17日(水)	II	第一講 義室	脳神経内科 学	山中	講義	自律神経	交感神経系, 副交感 神経系	
7	4月18日(木)	II	第一講 義室	代謝生理学	波多野	講義	腎3：腎と体液・ 酸塩基平衡	排尿反射, 水分出納 電解質代謝, 酸塩基 平衡	
8		III	第一講 義室	代謝生理学	三木	講義	消化3：消化管 各部位の機能	口, 食道, 胃	
9	4月19日(金)	II	第一講 義室	代謝生理学	三木	講義	消化4：消化管 各部位の機能	肝, 胆, 膵	
10	4月24日(水)	II	第一講 義室	認知行動生 理学	須藤	講義	運動1：骨格筋, 運動ニューロン	興奮収縮連関, 運動 単位	
11	4月25日(木)	II	第一講 義室	代謝生理学	三木	講義	呼吸1：呼吸器 の機能的解剖学	上・下気道, 肺胞, 肺コンプライアンス	

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担 当 教 員	授 業 種 別	授 業 内 容	key word	授 業 課 題
12	4月25日(木)	Ⅲ	第一講 義室	代謝生理学	三木	講義	呼吸2：呼吸運 動	残気量, 死腔, 換気 障害	
13	4月26日(金)	Ⅱ	第一講 義室	新潟大学	日比野	講義	聴覚研究の最前 線	内耳, 聴覚, 内リン パ, 外リンパ	
14	5月8日(水)	Ⅱ	第一講 義室	認知行動生 理学	須藤	講義	運動2：脊髄, 脳幹, 反射	筋紡錘, 伸張反射, 運動麻痺	
15	5月9日(木)	Ⅱ	第一講 義室	代謝生理学	三木	講義	呼吸3：ガスの 交換と運搬	ヘモグロビン, pH の維持, 揮発酸と不 揮発酸	
16	5月10日(金)	Ⅱ	第一講 義室	国際医療福 祉大学	岸	講義	循環2：臓器連 関による循環恒 常性維持機構	臓器連関, 恒常性, 心不全, ガイトン理 論, 圧受容器反射, 動的解析	
17	5月15日(水)	Ⅱ	第一講 義室	東京大学	大門	講義	循環3：循環機 能の評価	循環機能, 生理検査	
18	5月16日(木)	Ⅰ	第一講 義室	代謝生理学	三木	講義	内分泌1：視床 下部と下垂体	視床下部ホルモン, 下垂体ホルモン	
19		Ⅱ	第一講 義室	代謝生理学	三木	講義	内分泌2：甲状 腺, 副甲状腺	甲状腺ホルモン, 副 甲状腺ホルモン, カ ルシトニン	
20	5月17日(金)	Ⅰ	第一講 義室	代謝生理学	三木	講義	内分泌3：膵内 分泌, 副腎	インスリン, グルカ ゴン, アドレナリン, コルチゾル, アルド ステロン	
21		Ⅱ	第一講 義室	代謝生理学	三木	講義	内分泌4：性腺	性ホルモン, 生殖機 能	
27	5月31日(金)	Ⅰ	第一講 義室	代謝生理学	三木	講義	血液	血液の細胞成分, 液 性成分	

	授業実施日	時限	場所	所属	担当教員	授業種別	授業内容	key word	授業課題
41	7月12日(金)	Ⅱ	IT室		三木・清水	試験			
46	7月18日(木)	Ⅳ	IT室		三木・清水	再試験			

行動科学ユニット

1) ユニット名 行動科学

2) ユニット責任者 清水 栄 司

3) ユニットの概要

行動科学は、ヒトの精神や社会を理解する基盤として、行動という側面から評価する科学体系である。認知行動生理学講座が教育にあたる。

4) ユニットのゴール、学習アウトカムと科目達成レベル

・ゴール

病的行動を正しく把握し、適切な治療方針が立てられるように、行動の成り立ちと症状との関係、そして、診断・治療の原則を説明できる。

・コンピテンス達成レベル表

学習アウトカム	科目達成レベル (行動科学)
Ⅲ. 医学および関連領域の知識	
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し応用できる。	
1 正常な構造と機能 1) 行動の基盤となる、脳を含む身体の構造と機能について概説できる。 2) 行動の基盤となる遺伝学的理論について概説できる。 3) 各種の神経伝達物質やホルモンと行動の関係について概説できる。	B
2 発達、成長、加齢、死 1) 典型的なヒトの発達段階について、その行動様式をもとに説明できる。 2) 発達理論や死の受容の理論に基づいて適切な医療コミュニケーションを選択できる。	B
3 心理、行動 1) 年齢・発達段階に応じた、ヒトの行動および心理作用の典型的なパターンを説明できる。 2) 学習理論について説明できる。 3) ストレス反応について説明できる。 4) 行動の変容について説明できる。 5) 正常な睡眠について、異常な睡眠と比較して説明できる。 6) 学習理論について説明できる。	B
4 病因、構造と機能の異常 1) 代表的な精神障害における認知や行動について説明できる。 2) 薬物・アルコール依存について説明できる。	B
5 診断、治療 1) 代表的な精神障害における行動の特性について説明できる。 2) 行動変容と心理療法について説明できる。 3) 診療場面での対処に注意を要する事例において適切なコミュニケーションを選択できる。 4) インフォームドコンセントやアセントの原則を説明できる。	D

学習アウトカム		科目達成レベル (行動科学)	
IV. 診療の実践			
千葉大学医学部学生は、卒業時に患者に対して思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる。			
4	頻度の高い疾患の診断と治療に必要な検査を選択し、結果を解釈できる。 1) 行動と心理を評価するための研究法について概説できる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
V. 疾病予防と健康増進			
千葉大学医学部学生は、卒業時に保健・医療・福祉の資源を把握・活用し、必要に応じてその改善に努めることができる。			
2	健康・福祉に関する問題を評価でき、疾病予防・健康増進の活動に参加できる。 1) 本邦の医療・保健・福祉制度について説明できる。 2) 本邦の医療を取り巻く状況について人種・経済・文化などに基づいて概説できる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
VI. 科学的探究			
千葉大学医学部学生は、卒業時に基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。			
1	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。 1) 行動と心理を評価するための研究法について概説できる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である

5) 評 価 法

wbtの成績で評価する。試験問題の構成は、想起(30%)、解釈(50%)、応用・問題解決(20%)とする。

6) 授業スケジュール

P.70~71参照

7) 教 科 書 (必携：ほとんど毎回使う)

Fadem著：BRS (Board Review Series) Behavioral Science 7th edition 2016年

ISBN: 978-1496310477

参 考 書

日本行動医学会(編)：行動医学テキスト 中外医学社 2015年

ISBN:978-4498048287

Sadockほか著：Kaplan and Sadock's Synopsis of Psychiatry: Behavioral Sciences/Clinical Psychiatry 2014年

ISBN:978-1609139711

尾崎・三村・水野・村井(編)：標準精神医学 医学書院(第7版) 2018年

ISBN:978-4-260-03246-9

清水栄司著：自分で治す「社交不安症」法研 2014年

ISBN:978-4865130805

小澤・福田・本間・大森・大橋(編)：標準生理学 医学書院(第8版) 2014年

ISBN:978-4-260-01781-7

Ganong著(岡田泰伸ほか訳)：ギャノン生理学 原書24版 丸善 2014年

ISBN:978-4-621-08717-6

Tortora著(桑木共之ほか訳)：トータル人体の構造と機能 丸善 2012年

ISBN:978-4-621-08576-9

大地陸男著：生理学テキスト第8版 文光堂 2017年

ISBN:978-4-8306-0229-0

推 薦 副 読 本

マーク・ハットン著：夜中に犬に起こった奇妙な事件 早川書房

ISBN:978-4151200854

8) 能動的学習について

概要

本ユニットは、医師として生涯にわたり能動的に学習する態度を涵養するため、能動的学習（アクティブラーニング）の手法を取り入れて実施する。受講生は、千葉大学Moodleにて別途案内する2～3人のグループに分かれ、グループ単位で自律的な学習を行うこととする。毎回の講義時間は、教員から受講生への知識の伝達ではなく、主に受講生同士での知識の共有・定着・考察を行う。教員は能動的学習のようすを監督し促進する。

能動的学習の詳細について、千葉大学Moodleに最新情報を掲載することがある。

能動的学習を行うのは認知行動生理学の教員（清水、須藤）の回のみとする。客員講師（西村、吉村、松澤）の回は通常の知識伝達型講義形式とし、能動的学習の時間としない。

基本的な流れ

能動的学習の講義回の前後に受講生が行うべき、基本的な学習方法を以下に述べる。

(1) 講義時間以前

① 千葉大学Moodleから【課題シート】【グループ表】【レビューテスト担当表】【レビューテスト用スライドテンプレート】を入手する。

② 予習

課題シートを参考に、教科書の該当チャプターを読了する。必要に応じ他の図書等で知識を得る。1コマ（90分）の講義に対し、予習は1～1.5時間程度が目安である。

③ レビューテスト担当の回のみ

グループメンバーと相談し、レビューテストの準備をする。教科書の該当チャプターのReview Test(章末問題)の中から各グループで1問を選択し、解説用のスライドデータ（PowerPointファイル）を作成しておく。スライドデータはUSBメモリに入れて講義に持参する。データは人数分ではなくグループで1つであることに注意。

可能であれば、同じ講義回で発表する他のグループと相談し、準備する設問が重複しないよう調整しておくとう望ましい。

(2) 講義時間

① 知識共有（約60分）

課題シートの中から教員の指示する設問について、予習で得た知識をグループ内で共有する。グループメンバー内で「講師と聴衆」のロールが固定してしまわないよう、設問ごとに主たる説明者を交代していく。相互に知識を説明し、補足したり誤解を正したりしながら、理解を深める時間とする。教科書、参考書、PC・スマートフォン等を利用して知識を補うことがある。

また、この間にレビューテストの担当グループはスライドデータをUSBメモリで教員に提出する。

② レビューテスト（約30分）

担当グループはレビューテストスライドを使い、全受講生に対し、選択した設問の解説を行う。

(3) 講義後

① 復習、疑問点の解消

・授業スケジュール

	授業実施日	時 限	場 所	所 属	担 当 教 員	授 業 種 別	授 業 内 容	key word	授 業 課 題
1	5月22日(水)	II	第一講義室	認知行動生理学	須藤	講義	ガイダンス、生涯発達（ライフステージ：出生から死、別離まで）	ライフサイクル、発達理論、身体的発育、死の受容	Ch1/2/3、課題シート
2	5月24日(金)	I	第一講義室	認知行動生理学	須藤	講義	人の行動：行動の遺伝と脳の生理学	遺伝学的要因、脳損傷、神経伝達物質	Ch4、課題シート
3		II	第一講義室	子どものころの発達教育研究センター	松澤	講義	睡眠、薬物・アルコールへの依存	睡眠脳波、不眠、物質依存、離脱症状、覚醒剤、麻薬	
4	5月29日(水)	I	第一講義室	認知行動生理学	清水	講義	ストレス（心身医学と適応・防衛機制）	自我、エス、超自我、防衛機制、ストレス、慢性疼痛	Ch6/22、課題シート
5		II	第一講義室	産業技術総合研究所	西村	講義	人口知能：行動のセンシングと理解	人工知能、機械学習、知識工学、IoT、バイオメカニクス、サービス工学	
6	5月31日(金)	II	第一講義室	認知行動生理学	須藤	講義	行動の評価：症状評価、研究手法	生化学検査、脳画像検査、電気生理学的検査、神経心理学的検査	Ch5/8、課題シート
7	6月5日(水)	III				予備日			
8	6月6日(木)	I	第一講義室	認知行動生理学	清水	講義	行動変容における理論と技法（心理療法）	精神分析、自由連想法、認知行動療法、家族療法	Ch17、課題シート
9		II	第一講義室	認知行動生理学	清水	講義	認知行動療法と精神疾患その1（不安症）	不安、不安症、DSM-5、パニック障害、恐怖症、強迫症、PTSD	Ch13、課題シート
10	6月7日(金)	I	第一講義室	認知行動生理学	須藤	講義	行動の成り立ち、学習理論、動機付け	馴化、感作、古典的条件づけ、オペラント条件づけ、強化	Ch7、課題シート
11		II	第一講義室	認知行動生理学	須藤	講義	対人関係と対人コミュニケーション（攻撃性と虐待、医師患者関係）	攻撃性、虐待、ネグレクト、DV、性犯罪、アドヒアランス	Ch20/21、課題シート

	授業実施日	時限	場所	所属	担当教員	授業種別	授業内容	key word	授業課題
12	6月13日(木)	I	第一講義室	認知行動生理学	清水	講義	認知行動療法と精神疾患その2(うつ)	大うつ病性障害, 気分障害, 双極性障害, 月経前緊張症, 自傷行為	Ch12, 課題シート
13		II	第一講義室	公衆衛生学	吉村	講義	医療の情報と人間の行動～病院の受療行動を例に～	医療情報, 医療費, 医療制度, 医療資源の配分	
14	6月14日(金)	I	第一講義室	認知行動生理学	須藤	講義	個人差(家族, 文化, 性の心理)	結婚, 離婚, 寡婦・夫, 文化と疾病, 人種, 性機能, ジェンダーロール, 性機能不全, パラフィリア症候群, 行動の性差	Ch18/19, 課題シート
15	6月19日(水)	II	第一講義室	認知行動生理学	清水	講義	認知行動療法と精神疾患その3(解離性障害, パーソナリティ障害, 児童, 痛み等)	パーソナリティ, 解離性障害, 摂食障害, 発達障害, 自閉スペクトラム症, ADHD, 認知症	Ch14/15, 課題シート
16	6月21日(金)	I				予備日			
17		II	第一講義室	認知行動生理学	須藤	講義	医療における法と倫理, 文化と医療(ヘルスケア)	インフォームドコンセント, アセント, 守秘義務, 安楽死, 医療過誤, 医療・保健制度	Ch23/24, 課題シート
18	6月28日(金)	I				予備日			
19		II	IT室	認知行動生理学		試験			
23	7月18日(木)	III	IT室	認知行動生理学		再試験			

生命科学特論・研究 I

I 科目(コース)名 生命科学特論・研究 I

II コースの概要
並びに学習目標 医学の基盤となる生命科学の方法論を十分に修得し、その後の臨床医学の学習および独創的な発想による独自の専門領域研究を開拓するために、基礎医学系および臨床医学系各種研究領域の先端的または応用的研究に触れると共に、それらの実験科学を自ら体得する事によって、生命科学における科学的思考法を身につけ学問体系構築の道筋を理解する。

III 科目(コース)責任者 中 島 裕 史

IV 対 象 学 年 1年次～6年次

V 構成ユニット	ユニット	ユニット責任者	時期
	スカラーシッププログラム	中 島 裕 史	通年
		白 澤 浩	
		坂 本 明 美	
		中 山 俊 憲	

スカラシップ・ベーシックプログラム

1) ユニット名 スカラシッププログラム

2) ユニット責任者 中島裕史, 白澤浩, 坂本明美, 中山俊憲

3) ユニットの概要

本ユニットでは、医学、医療の発展のために必要となる、さらに高い学識的な思考と研究開発のための知識、技術、倫理観を、各研究室の研究・抄読会・カンファレンス等への参加（以下、研究への参加）を経験する事により修得する事を目指します。希望する研究室の研究およびBCRC（ちばBasic & Clinical Research Conference）に参加するベーシック（1, 2年次対象, 必修）、3年次の講義「トランスレーショナル先端治療学」および「イノベーション医学」を含むアプライド（必修）、研究発表および論文作成を行うアドバンスト（選択）からなります。

ガイダンス後、研究室を選択し、その指導教員（アカデミックメンター）の指示に従って、研究・抄読会・カンファレンス等に参加します。研究室の選択は変更も可能ですが、研究内容の継続性から原則として半年以上ひとつの研究室に所属することが求められます。

研究への参加に関する指導・相談はメンターがあたります。研究室の変更、中断の相談にはユニット責任者があたります。

アドバンストは、4～6年次を目安としていますが、各自の計画により全年次を通して自由に履修して構いません。

4) ユニットのゴール、学習アウトカムと科目達成レベル

・ゴール

基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報の評価、批判的思考ができる。新しい情報を生み出すための論理的思考を倫理原則に従って行うことができる。

・コンピテンスと達成レベル

学習アウトカム		科目達成レベル (スカラシップ・ベーシック)	
I. 倫理観とプロフェッショナリズム			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者とその関係者、医療チームのメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するための態度、倫理観を有して行動できる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたり向上を図ることができる。			
1	倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。 1) 実験室、動物実験、患者に関する研究の倫理的事項を説明できる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
5	常に自己を評価・管理し、自分の知識、技能、行動に責任を持つことができる。 2) チームの一員として他の研究員とコミュニケーションをとり、責任ある行動ができる。	C	基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である
6	専門職連携を実践できる。 2) チームの一員として他の研究員とコミュニケーションをとり、責任ある行動ができる。	C	
7	自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。 3) 医学・医療の研究が社会の発展に貢献することを理解し、抄読会、カンファレンス等に積極的に参加できる。	C	

学習アウトカム		科目達成レベル (スカラシップ・ベーシック)	
II. コミュニケーション			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。			
3	英語により医学・医療における情報を入手し、発信できる。 4) 臨床的あるいは科学的論文の精読ができる。 5) 医学情報を英語で発信できる。	C/D	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である
VI. 科学的探究			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。			
1	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。 6) 医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
2	科学的研究で明らかになった新しい知見・高度先進医療を説明できる。 6) 医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。	D	

5) 評価法

抄読会、カンファレンス等への参加を評価する (60%)

パフォーマンス評価 (40%)

評価シート

コンピテンス*	知識	理解	提示**	実践結果の提示
研究の意義	<input type="checkbox"/> Basic (10点)***	<input type="checkbox"/> Applied	<input type="checkbox"/> Applied	<input type="checkbox"/> Advanced
結果の意義	<input type="checkbox"/> Basic (10点)	<input type="checkbox"/> Applied	<input type="checkbox"/> Applied	<input type="checkbox"/> Advanced
材料・方法	<input type="checkbox"/> Basic (10点)	<input type="checkbox"/> Applied	<input type="checkbox"/> Applied	<input type="checkbox"/> Advanced
背景・目的	<input type="checkbox"/> Basic (10点)	<input type="checkbox"/> Basic (10点)	<input type="checkbox"/> Basic (10点)	<input type="checkbox"/> Advanced

*該当する項目全てのコンピテンスが修得された状態の評価を「可」とする。

** Basicでは、レポートもしくはプレゼンテーション。Appliedでは、プレゼンテーション。パフォーマンス評価に用いる。

*** () 内の点数を評価の目安とする。

6) 実施概要と開設教室紹介

実施概要

- 1) 授業、ラボツアーに参加する。(1年次)
- 2) 開設教室の抄読会、カンファレンスに参加し、自らも論文の精読、検索を行う。
- 3) 各自が興味を持ち遂行したいテーマを提供する研究領域の教員と面談し、1年次～3年次の間における配属の許可を得る。
- 4) 配属先の定員を越える希望者がある場合には調整を行うことがある。
- 5) 適切な範囲内で、研究を行うテーマを変更することが可能であり、複数の領域の教員と相談しながら研究

を行っても良い。

6) 抄読会・カンファレンス・セミナー・学会等への参加 (15時間/年以上)。

7) メンターが与えた医学論文の精読 (1編以上)。精読した医学論文の研究背景の理解をメンターおよびメンバーに提示 (レポートもしくはプレゼンテーション) し, パフォーマンス評価を受ける。(1回以上/年)

8) BCRC (2020年2月1日(土)) に必ず参加すること。

開設教室紹介

後日, 配付予定。

スカラシップ・アドバンスプログラム

- 1) ユニット名 スカラシッププログラム
 2) ユニット責任者 中島裕史, 白澤 浩, 坂本明美
 3) ユニットの概要

本ユニットでは、医学、医療の発展のために必要となる、さらに高い学識的な思考と研究開発のための知識、技術、倫理観を、各研究室の研究・抄読会・カンファレンス等への参加（以下、研究への参加）を経験する事により修得する事を目指します。希望する研究室の研究およびBCRC（ちばBasic & Clinical Research Conference）に参加するベーシック（1, 2年次対象, 必修）、3年次の講義「トランスレーショナル先端治療学」及び「イノベーション医学」を含むアプライド（必修）、研究発表および論文作成を行うアドバンスト（選択）からなります。

ガイダンス後、研究室を選択し、その指導教員（アカデミックメンター）の指示に従って、研究・抄読会・カンファレンス等に参加します。研究室の選択は変更も可能ですが、研究内容の継続性から原則として半年以上ひとつの研究室に所属することが求められます。

研究への参加に関する指導・相談はメンターがあたります。研究室の変更、中断の相談にはユニット責任者があたります。

アドバンストは、4～6年次を目安としていますが、各自の計画により全年次を通して自由に履修して構いません。

4) ユニットのゴール、コンピテンスと達成レベル

・ゴール

基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報の評価、批判的思考ができる。新しい情報を生み出すための論理的思考を倫理原則に従って行うことができる。

・コンピテンスと達成レベル

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (スカラシップ・アドバンスト)	
I. 倫理観とプロフェッショナリズム			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者とその関係者、医療チームのメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するための態度、倫理観を有して行動できる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたり向上を図ることができる。			
1	倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。 ・実験室、動物実験、患者に関する研究の倫理的事項を説明できる。	A	態度、価値観を示せることが単位認定の要件である
2	法的責任・規範を遵守する ・研究に関する法、規範を理解し順守できる	A	
5	常に自己を評価・管理し、自分の知識、技能、行動に責任を持つことができる。 ・チームの一員として他の研究員とコミュニケーションをとり、責任ある行動ができる。	A	
6	専門職連携を実践できる。 ・チームの一員として他の研究員とコミュニケーションをとり、責任ある行動ができる。	C	基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (スカラシップ・アドバンスト)	
7	自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。 ・医学・医療の研究が社会の発展に貢献することを理解し、抄読会、カンファレンス等に積極的に参加できる。	A	
8	同僚、後輩に対する指導、助言ができる	A	
II. コミュニケーション			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。			
1	患者、患者家族、医療チームメンバーと、個人、文化、社会的背景を踏まえて傾聴、共感、理解、指示的態度を示すコミュニケーションを実施できる。 ・研究チームメンバーとの適切なコミュニケーションを実践できる。	A	実践できることが単位認定の要件である。
2	コミュニケーションにより、患者、患者家族、医療チームメンバーとの信頼関係を築き、情報収集、説明と同意、教育など医療の基本を実践できる。 ・研究チームメンバーとの信頼関係を築ける。	A	
3	英語により医学・医療における情報を入手し、発信できる。 ・臨床的あるいは科学的論文の精読ができる。 ・医学情報を英語で発信できる。	A	
VI. 科学的探究			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。			
1	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。 ・医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。	A	実践できることが単位認定の要件である。
2	科学的研究で明らかになった新しい知見・高度先進医療を説明できる。	A	
3	未知・未解決の臨床的あるいは科学的問題を発見し、解決に取り組むことができる。	A	

5) 評 価 法

作成した論文および研究発表について、下記項目の評価を行う。

評価シート

コンピテンス*	知識	理解	提示	実践結果の提示
研究の意義	<input type="checkbox"/> Basic	<input type="checkbox"/> Applied	<input type="checkbox"/> Applied	<input type="checkbox"/> Advanced
結果の意義	<input type="checkbox"/> Basic	<input type="checkbox"/> Applied	<input type="checkbox"/> Applied	<input type="checkbox"/> Advanced
材料・方法	<input type="checkbox"/> Basic	<input type="checkbox"/> Applied	<input type="checkbox"/> Applied	<input type="checkbox"/> Advanced
背景・目的	<input type="checkbox"/> Basic	<input type="checkbox"/> Basic	<input type="checkbox"/> Basic	<input type="checkbox"/> Advanced

*該当する項目全てのコンピテンスが修得された状態の評価を「可」とする。

6) 実施概要と開設教室紹介

実施概要

- 1) 本ユニットの履修希望は、研究室の指導教員の許可を得る。
- 2) スカラシップ・アドバンストで行った研究成果に関する研究発表もしくは論文作成等を行う*。
- 3) 研究室の教員が研究発表もしくは研究論文等の評価を随時行う（単位申請）。
- 4) 研究発表もしくは研究論文等の業績を学部学務係に指定の様式で提出し、ユニット責任者の認定を得る。
- 5) アドバンストは、4～6年次の履修を目安としていますが、各自の計画により全年次を通して自由に履修して構いません。期間も限定しません。

*英文、和文を問わない。

研究発表の運用（認定時に業績を指定の様式で添付）

- 1) 国内、国外の学会や研究会等での筆頭、共著発表者
- 2) 学生発表会での発表者：ちば Basic & Clinical Research Conference, 研究医養成コンソーシアム等

研究論文の運用（認定時に業績を指定の様式で添付）

学術論文、総説等の筆頭著者、共著者

開設教室紹介

後日、配付予定。

6年一貫医学英語プログラム

- I 科目(コース)名 6年一貫医学英語プログラム
- II コースの概要並びに学習項目 グローバル化対応能力を修得し、英語による医学・医療コミュニケーションを実践できることを目標とする
- III 科目(コース)責任者 朝比奈 真由美
- IV 対象学年 1年次～6年次
- V 構成ユニット
- | ユニット | ユニット責任者 | 時期 |
|---------------------|---------|-------|
| 医学英語Ⅰ(必修・1単位) | 朝比奈 真由美 | 1年次 |
| 医学英語Ⅱ(必修・1単位) | 朝比奈 真由美 | 2年次 |
| 医学英語Ⅲ(必修・1単位) | 朝比奈 真由美 | 3年次 |
| 医学英語・アドバンスト(選択) | 朝比奈 真由美 | 4～5年次 |
| 海外クリニカル・クラークシップ(選択) | 朝比奈 真由美 | 5～6年次 |

6年一貫医学英語カリキュラム			
学 年		ユニット等	内 容
1年次	前期	TOEFL-ITP 試験（入学時）	クラス分け・実力試験
	後期	医学英語Ⅰ－①	英語による医療面接・導入
		医学英語Ⅰ－②	アカデミック・イングリッシュ (TOEFL対策含)
2年次	前期	医学英語Ⅱ－①	英語による医療面接・基礎
		医学英語Ⅱ－②	医学・医療英語プレゼンテーション・基礎
3年次	前期	医学英語Ⅲ	英語による臨床推論・基礎
4・5年次	通期	医学英語・アドバンスト（選択）	英語による医療面接・実践 英語による身体診察・基礎－実践 英語による臨床推論・応用 英語による診療録作成 英語症例プレゼンテーション・実践
6年次	前期	海外クリニカル・クラークシップ（選択）	海外臨床実習留学（大学CCとの単位互換）

医学英語 I

- 1) ユニット名 医学英語 I
- 2) ユニット責任者 朝比奈 真由美
- 3) ユニット期間 1年次通期
- 4) ユニット担当教員 稲川 知子, Ying Foo, Jason Mercier, 他
- 5) ユニットの概要

- 目 標：①医学・医療分野におけるグローバルリテラシー（国際対話能力）を修得する。
 ②医学・医療分野における国際倫理常識を理解する。
 ③医学・医療分野における留学等のキャリアをデザインし自己の向上を図る。

方 略：講義、演習およびe-learning（TOEFL-ITP入学時試験によりクラス分けを行う）

医学英語 I - ①：メディカルイングリッシュ・コミュニケーション（英語医療面接・導入）：「聞く」「話す」技術の向上

医学英語 I - ②：アカデミック・イングリッシュ（TOEFL 含）：「読む」「聞く」「書く」技術の向上

評 価 法：医学英語 I - ①：English OSCE（メディカルコミュニケーション試験）（50%），授業におけるパフォーマンス・小テスト・課題（50%）

医学英語 I - ②：TOEFL-ITP 学年末試験・TOEFL 教材（40%），授業におけるパフォーマンス・小テスト・課題（60%）

プロフェッショナリズムに反する行為のあった場合，その内容，程度により評価が減点される。

6) ユニットのゴール，学習アウトカムと科目達成レベル

学習アウトカム		科目達成レベル (医学英語 I)	
I. 倫理観とプロフェッショナリズム			
千葉大学医学部学生は，卒業時に 患者とその関係者，医療チームのメンバーを尊重し，責任をもって医療を実践するための態度，倫理観を有して行動できる。そのために，医師としての自己を評価し，生涯にわたり向上を図ることができる。			
1	倫理的問題を理解し，倫理的原則に基づいて行動できる。 ・医学英語論文の倫理的事項を理解できる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
7	自らのキャリアをデザインし，自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。 ・授業における課題，e-learning を活用し反復学習ができる。 ・海外クリニカル・クラークシップ留学時に必要とされる英語能力の取得を図ることができる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
II. コミュニケーション			
千葉大学医学部学生は，卒業時に 他者を理解し，お互いの立場を尊重した人間関係を構築して，医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。			

学習アウトカム		科目達成レベル (医学英語Ⅰ)	
3	英語により医学・医療における情報を入手し、発信できる。 ・4技能を高いレベルで向上させ、情報を入手するスキルを身につけることができる。 ・医療グローバル・コミュニケーションを習得し、医学・医療情報を入手できる。 ・英語による医療面接の内容を理解し病歴聴取の演習ができる。	C	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である
Ⅵ. 科学的探究			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。			
1	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。 ・医学英語論文を読み込み理解できる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である

7) 授業スケジュール

後期・水曜日（別ページカレンダーを参照のこと）

8) 単位認定要件

医学英語Ⅰ-①、Ⅰ-②各々で2/3以上の出席と評価の60%以上をクリアすることが医学英語Ⅰの単位認定要件である。

9) 備 考

2年次1月末までのTOEFL-ITP500点以上の獲得が医学英語Ⅱの単位認定要件である。

(TOEFL-ITPは入学時からの受検結果が対象となる。)

医学英語Ⅱ

- 1) ユニット名 医学英語Ⅱ
- 2) ユニット責任者 朝比奈 真由美
- 3) ユニット期間 2年次前期
- 4) ユニット担当教員 稲川 知子, Ying Foo, Jason Mercier 他
- 5) ユニットの概要

■ 医学英語Ⅱ－1：英語による医療面接・基礎

担当教員：Ying Foo, Jason Mercier 他

目 標：英語による医療面接の基礎（患者医師コミュニケーション・病歴聴取）を理解し実践することができる

方 略：講義，模擬患者等に対する演習およびe-learning（医学英語Ⅰの評価を参考にクラス分けを行う）

評 価 法：① English OSCE（医療面接試験）（50%）

②授業におけるパフォーマンス・小テスト・課題（50%）

■ 医学英語Ⅱ－2：英語による医学・医療プレゼンテーション・基礎

担当教員：Ying Foo, Jason Mercier 他

目 標：①英語プレゼンテーションの構成を理解し作成することができる

②効果的な英語プレゼンテーションの基礎を理解し実践することができる

方 略：講義，演習およびe-learning（医学英語Ⅰの評価を参考にクラス分けを行う）

評 価 法：①英語によるポスタープレゼンテーション（40%）

②授業におけるパフォーマンス・小テスト・課題（60%）

プロフェッショナリズムに反する行為のあった場合，その内容，程度により評価が減点される。

6) ユニットのゴール，学習アウトカムと科目達成レベル

学習アウトカム		科目達成レベル (医学英語Ⅱ)	
I. 倫理観とプロフェッショナリズム			
千葉大学医学部学生は，卒業時に 患者とその関係者，医療チームメンバーを尊重し，責任をもって医療を実践するための態度，倫理観を有して行動できる。そのために，医師としての自己を評価し，生涯にわたり向上を図ることができる。			
1	倫理的問題を理解し，倫理的原則に基づいて行動できる。 ・患者医師コミュニケーションの倫理を理解することができる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
7	自らのキャリアをデザインし，自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。 ・授業における課題，e-learningを活用し反復学習ができる。	D	
II. コミュニケーション			
千葉大学医学部学生は，卒業時に 他者を理解し，お互いの立場を尊重した人間関係を構築して，医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。			
1	患者，患者家族，医療チームのメンバーと，個人，文化，社会的背景を踏まえて傾聴，共感，理解，指示的態度を示すコミュニケーションを実施できる。 ・英語による上記コミュニケーションに必要な医学・医療専門用語・会話を理解することができる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である

学習アウトカム		科目達成レベル (医学英語Ⅱ)	
2	コミュニケーションにより、患者、患者家族、医療チームのメンバーとの信頼関係を築き、情報収集、説明と同意、教育など医療の基本を実践できる。 ・英語による患者からの基本情報を正確に理解できる	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
3	英語により医学・医療における情報を入手し、発信できる。 ・情報入手のための医学・医療専門用語を理解できる。 ・英語による医療面接の内容を理解し病歴聴取の演習ができる。 ・英語による医学・医療プレゼンテーションの内容を理解し演習できる。	C	基盤となる態度・スキルを示せることが単位認定の要件である
Ⅳ. 診療の実践			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者に対して思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる。			
1	患者の主要な病歴を正確に聴取できる。 ・英語による病歴聴取の内容を理解できる。	C	基盤となる態度・スキルを示せることが単位認定の要件である
2	医療文書を適切に作成し、プレゼンテーションできる。 ・英語による医療文書情報の基礎的な内容を理解し作成できる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
Ⅵ. 科学的探求			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。			
1	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。 ・英語医学文書から患者医師コミュニケーションに必要な事項を理解することができる。 ・英語医学文書から入手・理解し有効にプレゼンテーションできる。	C	基盤となる態度・スキルを示せることが単位認定の要件である

7) 授業スケジュール

前期・水曜日（別ページカレンダーを参照のこと）

8) 単位認定要件

医学英語Ⅱ-①、Ⅱ-②各々で2/3以上の出席と評価の60%以上をクリアすると共に、2年次1月末までのTOEFL-ITP500点以上の獲得が医学英語Ⅱの単位認定要件である。（TOEFL-ITPは入学時からの受検結果が対象となる。）

・授業スケジュール（2年次）

	授業実施日	時 限	場 所	所属	担当教員	授業種別	授業内容	授業内容の key word	授業 課題
1	4月10日(水)	I	①大カンファレンスルーム ②第2講義室	医学教育研究室	Foo, Mercier, 他	講義, 演習, e-learning	①英語医療面接・基礎 ②英語医学プレゼンテーション・基礎	①Unit1: Case1 ②Unit1: Introduction	授業中に指示
	4月17日(水)	I	①大カンファレンスルーム ②第2講義室	医学教育研究室	Foo, Mercier, 他	講義, 演習, e-learning	①英語医療面接・基礎 ②英語医学プレゼンテーション・基礎	①Unit1: Case1 ②Unit1: Introduction	授業中に指示
	4月24日(水)	I	①大カンファレンスルーム ②第2講義室	医学教育研究室	Foo, Mercier, 他	講義, 演習, e-learning	①英語医療面接・基礎 ②英語医学プレゼンテーション・基礎	①Unit1: Case1 ②Unit1: Introduction	授業中に指示
	5月8日(水)	I	①大カンファレンスルーム ②第1講義室	医学教育研究室	Foo, Mercier, 他	講義, 演習, e-learning	①英語医療面接・基礎 ②英語医学プレゼンテーション・基礎	①Unit2: Case2 ②Unit2: Method	授業中に指示
2	5月15日(水)	I	①大カンファレンスルーム ②第1講義室	医学教育研究室	Foo, Mercier, 他	講義, 演習, e-learning	①英語医療面接・基礎 ②英語医学プレゼンテーション・基礎	①Unit2: Case2 ②Unit2: Method	授業中に指示
	5月22日(水)	I	①大カンファレンスルーム ②第1講義室	医学教育研究室	Foo, Mercier, 他	講義, 演習, e-learning	①英語医療面接・基礎 ②英語医学プレゼンテーション・基礎	①Unit2: Case2 ②Unit2: Method	授業中に指示
	6月5日(水)	I	①大カンファレンスルーム ②第1講義室	医学教育研究室	Foo, Mercier, 他	講義, 演習, e-learning	①英語医療面接・基礎 ②英語医学プレゼンテーション・基礎	①Unit3: Case3 ②Unit3: Results	授業中に指示
3	6月12日(水)	I	①大カンファレンスルーム ②第1講義室	医学教育研究室	Foo, Mercier, 他	講義, 演習, e-learning	①英語医療面接・基礎 ②英語医学プレゼンテーション・基礎	①Unit3: Case3 ②Unit3: Results	授業中に指示
	6月19日(水)	I	①大カンファレンスルーム ②第1講義室	医学教育研究室	Foo, Mercier, 他	講義, 演習, e-learning	①英語医療面接・基礎 ②英語医学プレゼンテーション・基礎	①Unit3: Case3 ②Unit3: Results	授業中に指示

	授業実施日	時 限	場 所	所属	担当教員	授業種別	授業内容	授業内容の key word	授業 課題
4	7月3日(水)	I	①CCSC (スキル・トレーニング室, 診察シミュレーション室 1-12) ②大カンファレンスルーム	医学教育研究室	Foo, Mercier, 他	①演習 ②講義, 演習, e-learning	①英語医療面接・基礎 ②英語医学プレゼンテーション・基礎	①Unit4: Course Review with SP ②Unit4: Conclusions	授業中に指示
	7月10日(水)	I	①CCSC (レクチャー室 1-2, 診察シミュレーション室 1-12) ②大カンファレンスルーム	医学教育研究室	Foo, Mercier, 他	①演習 ②講義, 演習, e-learning	①英語医療面接・基礎 ②英語医学プレゼンテーション・基礎	①Unit4: Course Review with SP ②Unit4: Conclusions	授業中に指示
		II	①CCSC (レクチャー室 1-2, 診察シミュレーション室 1-12) ②大カンファレンスルーム	医学教育研究室	Foo, Mercier, 他	①演習 ②講義, 演習, e-learning	①英語医療面接・基礎 ②英語医学プレゼンテーション・基礎	①Unit4: Course Review with SP ②Unit4: Conclusions	授業中に指示
5	7月17日(水)	I	①CCSC (スキル・トレーニング室, 診察シミュレーション室 1-12) ②大カンファレンスルーム	医学教育研究室	Foo, Mercier, 他	①試験 ②講義, 演習, e-learning	①英語医療面接・基礎 ②英語医学プレゼンテーション・基礎	①English OSCE ②Unit5: Presentation	授業中に指示
		II	①CCSC (スキル・トレーニング室, 診察シミュレーション室 1-12) ②大カンファレンスルーム	医学教育研究室	Foo, Mercier, 他	①試験 ②講義, 演習, e-learning	①英語医療面接・基礎 ②英語医学プレゼンテーション・基礎	①English OSCE ②Unit5: Presentation	授業中に指示
		III	①CCSC (スキル・トレーニング室, 診察シミュレーション室 1-12) ②大カンファレンスルーム	医学教育研究室	Foo, Mercier, 他	①試験 ②講義, 演習, e-learning	①英語医療面接・基礎 ②英語医学プレゼンテーション・基礎	①English OSCE ②Unit5: Presentation	授業中に指示

医学英語Ⅲ

- 1) ユニット名 医学英語Ⅲ
- 2) ユニット責任者 朝比奈 真由美
- 3) ユニット期間 3年次前期
- 4) ユニット担当教員 Ying Foo, 稲川 知子 他
- 5) ユニットの概要

英語による臨床推論・基礎

目 標：英語による臨床推論の基礎を理解し実践することができる

方 略：講義，模擬患者等に対する演習および e-learning（医学英語Ⅱの評価を参考にクラス分けを行う）

評 価 法：① English OSCE（医療面接・臨床推論試験）（40％）

②授業におけるパフォーマンス・小テスト・課題（60％）

プロフェッショナリズムに反する行為のあった場合，その内容，程度により評価が減点される。

6) ユニットのゴール，学習アウトカムと科目達成レベル

学習アウトカム		科目達成レベル (医学英語Ⅲ)	
I. 倫理観とプロフェッショナリズム			
千葉大学医学部学生は，卒業時に 患者とその関係者，医療チームメンバーを尊重し，責任をもって医療を実践するための態度，倫理観を有して行動できる。そのために，医師としての自己を評価し，生涯にわたり向上を図ることができる。			
1	倫理的問題を理解し，倫理的原則に基づいて行動できる ・臨床推論，チーム学習に必要な倫理を理解することができる。	C	基盤となる態度・スキルを示せる ことが単位認定の要件である
7	自らのキャリアをデザインし，自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。 ・授業における課題，e-learningを活用し反復学習ができる。	C	基盤となる態度・スキルを示せる ことが単位認定の要件である
II. コミュニケーション			
千葉大学医学部学生は，卒業時に 他者を理解し，お互いの立場を尊重した人間関係を構築して，医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。			
1	患者，患者家族，医療チームのメンバーと，個人，文化，社会的背景を踏まえて傾聴，共感，理解，指示的態度を示すコミュニケーションを実施できる。 ・医療面接・臨床推論に有効な英語コミュニケーションを理解し模擬患者等に対し実践できる。	C	基盤となる態度・スキルを示せる ことが単位認定の要件である
2	コミュニケーションにより，患者，患者家族，医療チームのメンバーとの信頼関係を築き，情報収集，説明と同意，教育など医療の基本を実践できる。 ・医療面接・臨床推論に有効な英語コミュニケーションを理解し模擬患者等に対し実践できる。	C	基盤となる態度・スキルを示せる ことが単位認定の要件である
3	英語により医学・医療における情報を入手し，発信できる。 ・模擬患者等に対し英語により主要な病歴を聴取，臨床推論を実践し，簡単な診療録を作成できる。	C	基盤となる態度・スキルを示せる ことが単位認定の要件である

IV. 診療の実践		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者に対して思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる		
2	医療文書を適切に作成し、プレゼンテーションできる。 ・模擬患者等に対し英語により主要な病歴を聴取、臨床推論を実践し、簡単な診療録を作成できる。	C 基盤となる態度・スキルを示せることが単位認定の要件である
VI. 科学的探求		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。		
1	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。 ・臨床推論に必要な知識を英語医学文書から入手・理解し理解・実践する。	C 基盤となる態度・スキルを示せることが単位認定の要件である

7) 授業スケジュール

前期・水曜日または木（火）曜日（別ページカレンダーを参照のこと）

8) 単位認定要件

医学英語Ⅲ－①、Ⅲ－②の評価の60%以上をクリアすることが医学英語Ⅲの単位認定要件である。

医学英語・アドバンスト

- 1) ユニット名 医学英語・アドバンスト（選択）
- 2) ユニット責任者 朝比奈 真由美
- 3) ユニット期間 4～5年次通年
- 4) ユニット担当教員 Ying Foo, Jason Mercier, 稲川 知子, 朝比奈 真由美
- 5) ユニットの概要
 - ① 模擬患者に対し医療面接での英語表現を使うことができる
 - ② 模擬患者に対し英語による身体診察を行うことができる
 - ③ 診療録で用いる基本英語表現を理解し作成できる
 - ④ 英語による症例プレゼンテーションを実践することができる
- 6) ユニットのゴール, 学習アウトカムと科目達成レベル
 - II. コミュニケーション
 3. 英語により医学医療における情報を入手し発信できる→B: 模擬診察を実施できることが単位認定の要件である（単位認定は2014年度入学生より）
- 7) スケジュール
 - ・募集期間：2018年12月10日（月）～2019年1月4（金）17:00までに稲川知子先生（ameinfo@chibamed.org）へ Application Form を提出する。（コースに関する質問も同メールで受付ける）
 - ・2019年1月に希望者に対し面談後に履修者を決定し通知。履修者対象オリエンテーション終了後に履修登録証を学務係に提出。
 - ・授業スケジュール：2019年4月から2020年1月、毎週月曜日、18:00-21:00（全20回予定）（詳細は次ページ参照。授業・行事等により変更の場合は事前に周知する）
- 8) 評価法
 - ① English OSCE（60%）
 - ② 授業におけるパフォーマンスおよび課題（40%）

プロフェッショナリズムに反する行為があった場合、その内容、程度により評価が減点される、あるいは受講の継続が認められない。
- 9) 実施概要
 1. 本ユニットは海外大学におけるクリニカル・クラークシップ留学の予定者及び希望者を中心に、4-5年次20～25名の履修を目安とする。
 2. 本コースの受講者は留学及び授業内容に対し興味を持ち、積極的に取り組める者に限る。
 3. 本ユニットはTOEFL-iBT80, TOEFL-ITP550程度の英語能力を基準として行われる。
 4. 履修希望者多数の場合はTOEFL（またはそれに準ずるもの）、GPA, Motivation letter 及び面談により総合的に選考する。
 5. 本ユニットの評価をCC留学資格の基準とする。
 6. 欠席・遅刻は原則として厳禁とする。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に必ず担当教員に連絡をする。

・授業スケジュール (2019.1 update)

AME	2019	Date	Time	Place	Contents
0	4月8日	Mon.	18:00-19:30	CCSC	Course Introduction
1	4月15日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Initial Assessment
2	4月22日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Unit 1 - Introduction to Clinical Communication
3	5月13日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Unit 1 - History Taking I: The History of Present Illness (HPI)
4	5月27日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Unit 1 - History Taking II: The Past Medical, Sexual and Social History
5	6月10日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Unit 1 - History Taking III: History Taking in Special Populations
6	6月17日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Unit 1 Review and Assessment
7	6月24日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Unit 2 - Physical Examination I: General Assessment and Vital Signs
8	7月1日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Unit 2 - Physical Examination II: The Cardiovascular and Respiratory Systems
9	7月8日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Unit 2 - Physical Examination III: The Abdomen
10	10月21日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Unit 2 - Physical Examination IV: The Neurological System
11	10月28日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Unit 2 - Physical Examination V: The Musculoskeletal System and the Limb Examination
12	11月11日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Unit 2 - Physical Examination VI: Ears, Nose Throat and the Lymphatic System
13	11月18日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Unit 2 Review and Assessment
14	11月25日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Unit 3 - Basics of Clinical Reasoning and Diagnosis
15	12月2日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Unit 3 - Patient Diagnosis and Management Plans
16	12月9日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Unit 3 - Evidence Based Medicine
17	12月16日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Unit 3 - Oral Case Presentations
18	12月23日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Unit 3 - Clinical Note Writing
19	1月6日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Unit 3 Review and Assessment
20	1月20日	Mon.	18:00-21:00	CCSC	Final Assessment

上記日程は変更されることがあります。

海外クリニカル・クラークシップ

- 1) ユニット名 海外クリニカル・クラークシップ (選択)
- 2) ユニット責任者 朝比奈 真由美
- 3) ユニット期間 5年次後期～6年次後期 (アドバンストCC学内選択期間)
- 4) ユニット担当教員 稲川 知子
- 5) ユニットの概要
 - ①海外協定校・協力校の大学病院 (アメリカ, 韓国, ドイツ, タイ等) におけるクリニカル・クラークシップを
実践する。
 - ②患者に対する英語での医療面接, 身体診察の現場を経験し, 医療者に対する症例プレゼンテーションを実践する。
- 6) ユニットのゴール, 学習アウトカムと科目達成レベル
 - Ⅱ. コミュニケーション
 3. 英語により医学医療における情報を入手し発信できる→A: 診察の一部として実践することが単位認定の要件である
- 7) スケジュール
実施大学・選択科により異なる
- 8) 評価法
実施大学における指導医評価 (アドバンストCC学内選択期間の成績評価に反映される)
- 9) 海外クリニカル・クラークシップ実施大学 (2019年1月現在)
 - ① University of Illinois at Chicago (アメリカ)
 - ② Thomas Jefferson University (アメリカ)
 - ③ Inje University (韓国)
 - ④ Mahidol University (タイ)
 - ⑤ Taipei Medical University (台湾)
 - ⑥ Lee Kong Chian School of Medicine (シンガポール)
 - ⑦ Charité-Universitätsmedizin Berlin (ドイツ)
 - ⑧ Leipzig University (ドイツ)
 - ⑨ University of California, Irvine (アメリカ)
 - ⑩ University of Utah 放射線科 (アメリカ)
 - ⑪ University of Toronto 呼吸器外科 (カナダ)
 - ⑫ University of Medicine and Pharmacy at Ho Chi Minn city (ベトナム)

*募集要項・条件詳細は別途周知。応募締切は2019年2月中旬 (予定)

*希望者は必ず応募すること (後日, 希望の取り下げ可能です)。

2年次授業スケジュール

曜日	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金		
	コマ	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	
第1ターム	I							医学英語Ⅱ 1					医学英語Ⅱ 2					医学英語Ⅱ 3									
	II							生理学 1	生理学 2	生理学 3			生理学 4	生理学 5	生理学 6			生理学 7	生理学 8	生理学 9							
	III					入学式		遺伝子生化学 1	生理学 4	生理学 5			遺伝子生化学 3	生理学 7	代謝生化学 実習 4			遺伝子生化学 5	生理学 8	代謝生化学 7		昭和の日	祝日	祝日	祝日		
	IV							遺伝子生化学 2	代謝生化学 1	代謝生化学 2			遺伝子生化学 4	代謝生化学 3	代謝生化学 実習 5			遺伝子生化学 6	代謝生化学 6								
	V						スカラシップA	スカラシップB	スカラシップC	スカラシップD	スカラシップE	スカラシップA	スカラシップB	スカラシップC	スカラシップD	代謝生化学 実習予備	スカラシップA	スカラシップB	スカラシップC	スカラシップD	スカラシップE						
第1ターム	コマ	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7	
	I			医学英語Ⅱ 4					医学英語Ⅱ 5	生理学 1	生理学 2			医学英語Ⅱ 6		行動科学			行動科学		生理学				医学英語Ⅱ 7	行動科学	行動科学
	II			生理学 1	生理学 2	生理学 3			生理学 4	生理学 5	生理学 6			行動科学		行動科学			行動科学		行動科学				遺伝子生化学 17	行動科学	行動科学
	III	振替休日		遺伝子生化学 7	IPE II	遺伝子生化学 9 実習			遺伝子生化学 11 実習	IPE II	遺伝子生化学 13 実習			遺伝子生化学 予備	IPE II 実習	代謝生化学 8			遺伝子生化学 15	IPE II 実習	代謝生化学 10				行動科学 予備	IPE II	生命倫理 1
	IV			遺伝子生化学 8	IPE II	遺伝子生化学 10 実習			遺伝子生化学 12 実習	IPE II	遺伝子生化学 14 実習			遺伝子生化学 試験	IPE II 実習	代謝生化学 9			遺伝子生化学 16	IPE II 実習	代謝生化学 11				遺伝子生化学 18	IPE II	代謝生化学 12
V		スカラシップB	スカラシップC	スカラシップD	遺伝子生化学 実習予備	スカラシップA	スカラシップB	遺伝子生化学 実習予備	スカラシップD	遺伝子生化学 実習予備		スカラシップ ラボッター	スカラシップ ラボッター	スカラシップC	IPE II 実習	スカラシップE	スカラシップA	スカラシップB	スカラシップC	IPE II 実習	スカラシップE	スカラシップA	スカラシップB	スカラシップC	スカラシップD	スカラシップE	

*第1ターム6/10まで

曜日	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	
	コマ	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5					
第2ターム	I							医学英語Ⅱ 8	行動科学	行動科学			医学英語Ⅱ 9	生命倫理 2	行動科学 予備			健康診断	健康診断	行動科学 予備				医学英語Ⅱ 10	生命倫理 予備	
	II							代謝生化学 13 実習	行動科学	代謝生化学 16 実習			行動科学	生命倫理 3	行動科学			健康診断	健康診断	行動科学 試験						
	III							代謝生化学 14 実習	IPE II	代謝生化学 17 実習			遺伝子生化学 19	IPE II	代謝生化学 19			遺伝子生化学 21	生命倫理 4	生命倫理 5				遺伝子生化学 23	生命倫理 6	生命倫理 7
	IV							代謝生化学 15 実習	IPE II	代謝生化学 18 実習			遺伝子生化学 20	IPE II	代謝生化学 20			遺伝子生化学 22	代謝生化学 21	代謝生化学 22				遺伝子生化学 24	代謝生化学 23	代謝生化学 24
	V						スカラシップA	スカラシップB	代謝生化学 実習予備	スカラシップD	代謝生化学 実習予備	スカラシップA	スカラシップB	スカラシップC	スカラシップD	スカラシップE	スカラシップA	スカラシップB	スカラシップC	スカラシップD	スカラシップE	スカラシップA	スカラシップB	スカラシップC	スカラシップD	スカラシップE
第2ターム	コマ	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2					
	I			医学英語Ⅱ 11	生命倫理 予備				医学英語 試験																	
	II			医学英語Ⅱ 12	生命倫理 予備	生理学 試験			医学英語 試験		代謝生化学 試験															
	III			遺伝子生化学 予備	生命倫理 8	代謝生化学 予備			医学英語 試験	行動科学 再試験	生命倫理 10															
	IV			遺伝子生化学 試験	生命倫理 9	代謝生化学 予備				生理学 再試験	生命倫理 11															
V	スカラシップA	スカラシップB	スカラシップC	スカラシップD	スカラシップE			スカラシップC	スカラシップD	スカラシップE	スカラシップA	スカラシップB	スカラシップC	スカラシップD	スカラシップE	スカラシップA	スカラシップB	スカラシップC	スカラシップD	スカラシップE						

東医体関係期間

*第2ターム8/6まで

曜日	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	
	コマ	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30					
第3ターム	I																									
	II																									
	III																									
	IV																									
	V																									
第3ターム	コマ	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20	9/23	9/24	9/25	9/26	9/27					
	I																									
	II																									
	III																									
	IV																									
V	スカラシップA	スカラシップB	スカラシップC	スカラシップD	スカラシップE	スカラシップA	スカラシップB	スカラシップC	スカラシップD	スカラシップE		スカラシップB	スカラシップC	スカラシップD	スカラシップE		スカラシップB	スカラシップC	スカラシップD	スカラシップE						

【I時限】 8：50～10：20 【II時限】 10：30～12：00 【III時限】 12：50～14：20 【IV時限】 14：30～16：00 【V時限】 16：10～17：40

2年次授業スケジュール

Table for the 4th semester (第4ターム). The table shows a weekly schedule from September 30 to November 1. It lists various lecture and practical sessions, including anatomy (組織講義, 解剖講義), dissection (解剖実習), and clinical practice (臨床実習). Key events include '祝日' (Holiday) on Oct 22-23 and '大学祭' (University Festival) on Oct 30-31. A '振替休日' (Substitute Day) is noted for Oct 29.

*第4ターム12/2まで

Table for the 5th semester (第5ターム). The schedule runs from December 2 to December 27. It continues with anatomy and dissection sessions. Notable events include '成人の日' (Coming of Age Day) on Dec 15 and 'センター試験前日' (Center Test Day) on Dec 20. A '元旦' (New Year's Day) is observed on Dec 31. Final exams (82. 最終試験 (wbt)) are held on Dec 25.

*第5ターム2/5まで

*2/1(土)BCRCスカラシップ必修

Table for the 6th semester (第6ターム). The schedule starts from February 3 to March 6. It includes lectures on clinical practice and research. Key events include '建国記念の日' (National Foundation Day) on Feb 22, '前期日程' (First Term Schedule) from Feb 24-27, and '卒業式' (Graduation Ceremony) on Mar 23. The semester concludes with '後期日程前' (Second Term Schedule Front) on Mar 3 and 4.

【Ⅰ時限】8：50～10：20 【Ⅱ時限】10：30～12：00 【Ⅲ時限】12：50～14：20 【Ⅳ時限】14：30～16：00 【Ⅴ時限】16：10～17：40